

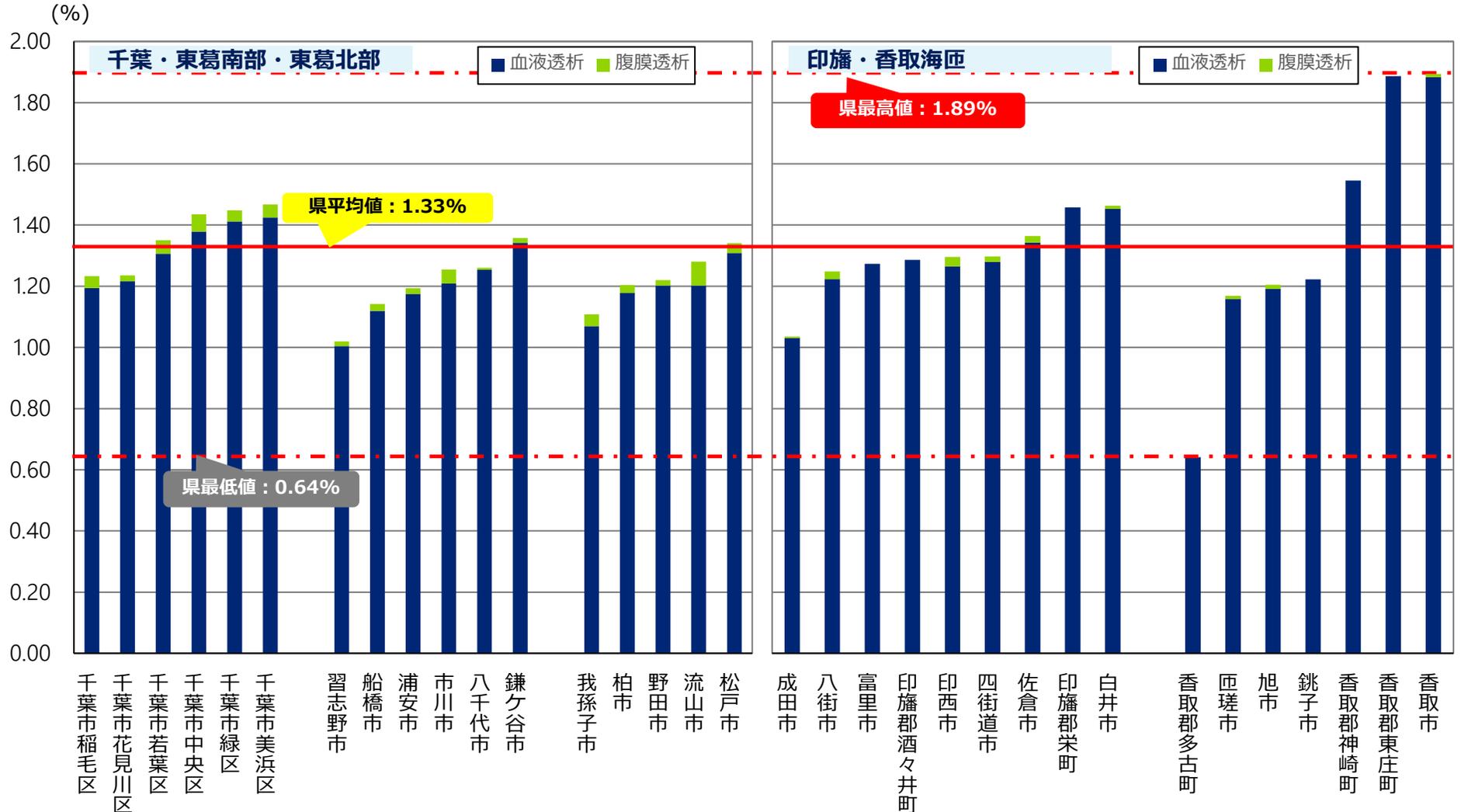
5-2. 人工透析患者数割合（後期高齢者） 2次医療圏

- 後期高齢者の人工透析患者数割合について、2次医療圏別に見ると、安房医療圏で最も高く、東葛北部医療圏で最も低くなっている。
- 安房医療圏では、他の医療圏と比べて腹膜透析の患者数割合が高くなっている。



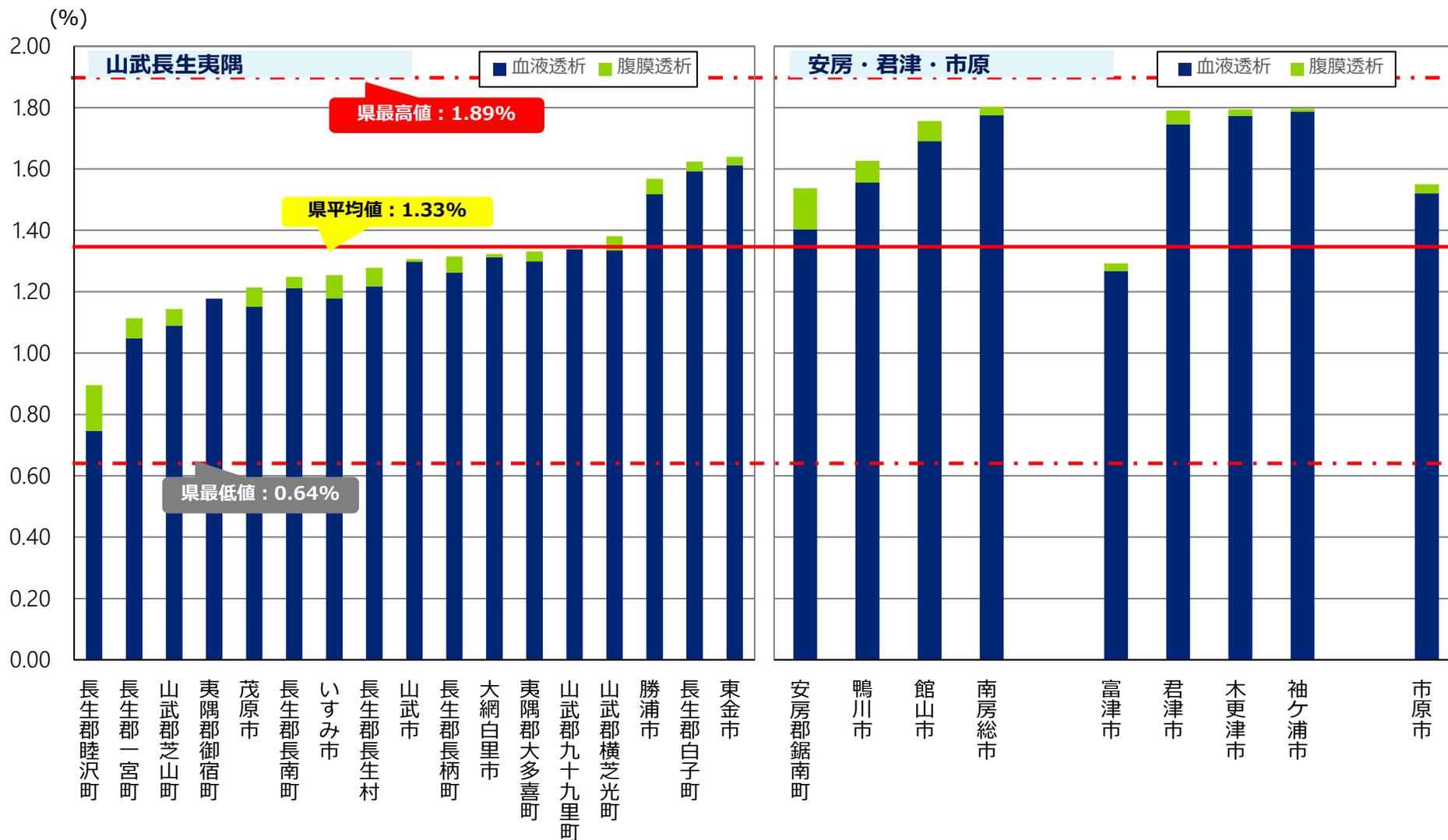
5-2. 人工透析患者数割合（後期高齢者）千葉・東葛南部・東葛北部／印旛・香取海匝

- 後期高齢者の市町村別人工透析患者数割合について、地域別に見ると、香取海匝で香取市、香取郡東庄町が共に千葉県内の最高値となっている。
- 千葉では6区のうち4区が千葉県平均値を超えている。



5-2. 人工透析患者数割合（後期高齢者） 山武長生夷隅／安房・君津・市原

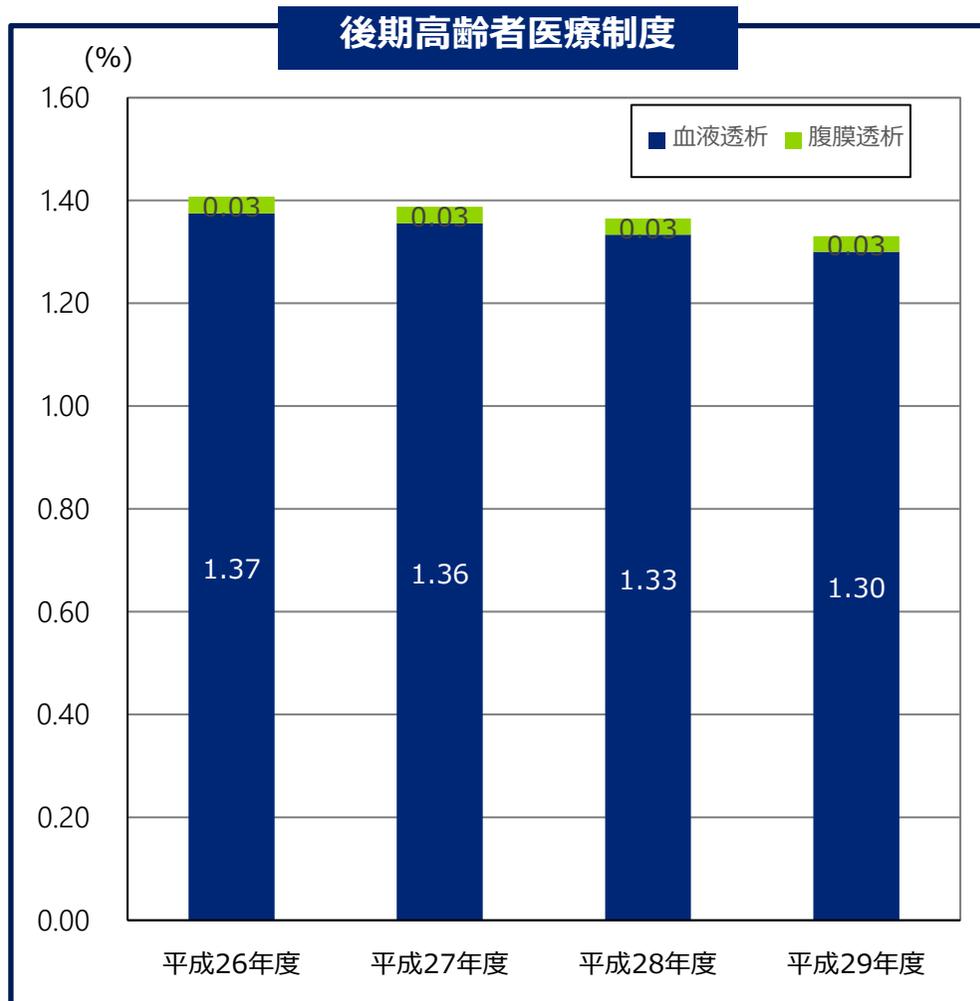
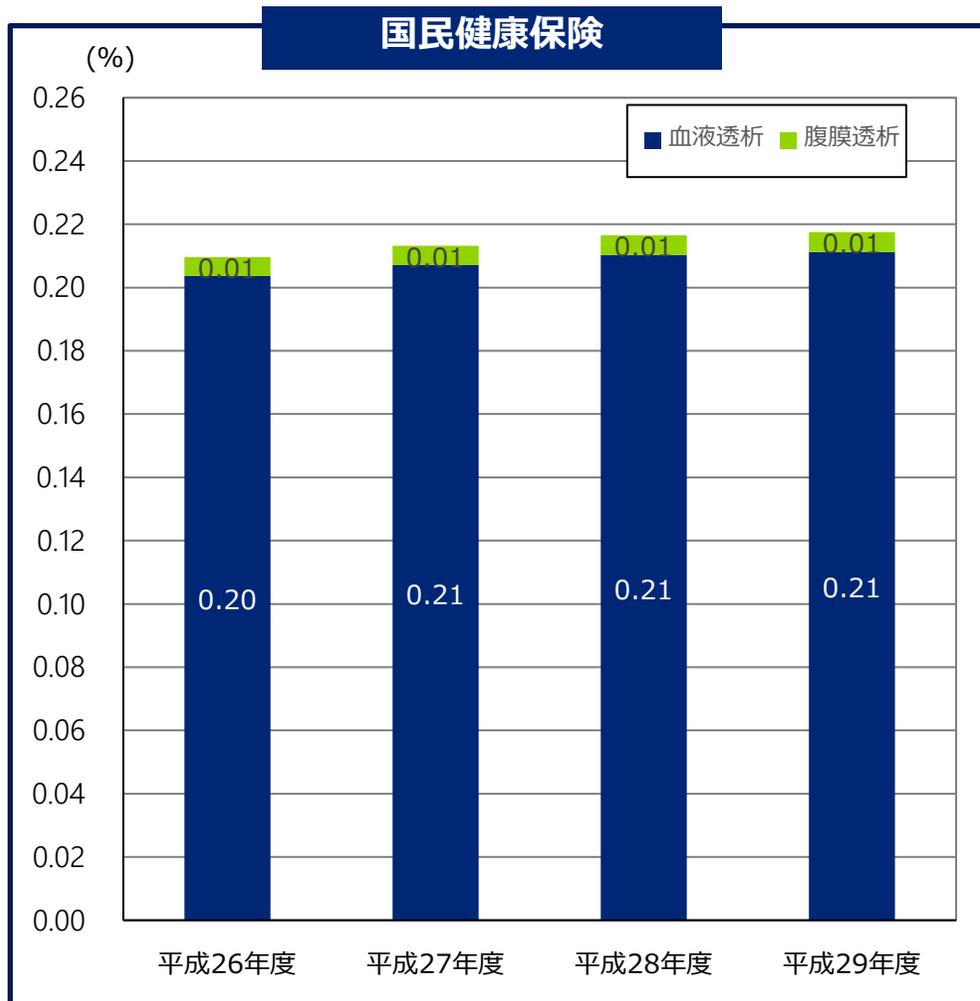
- 後期高齢者の市町村別人工透析患者数割合について、地域別に見ると、安房のすべての市町村で千葉県平均値を上回っている。



5-3 . 人工透析患者数割合推移

○ 人工透析患者数割合について、「国保」「後期高齢者」別に見ると以下の通りとなっている。

- ① 国民健康保険 : 血液透析患者数割合の増加により、人工透析患者数割合が増加傾向にある。
- ② 後期高齢者医療制度 : 人工透析患者数割合は減少傾向にあるが、腹膜透析患者数割合には大きな変化が見られない。



第6章 重複投薬・多剤投薬の状況

●国保及び後期高齢者医療制度に係る医療費の概況

6. 重複投薬・多剤投薬の状況

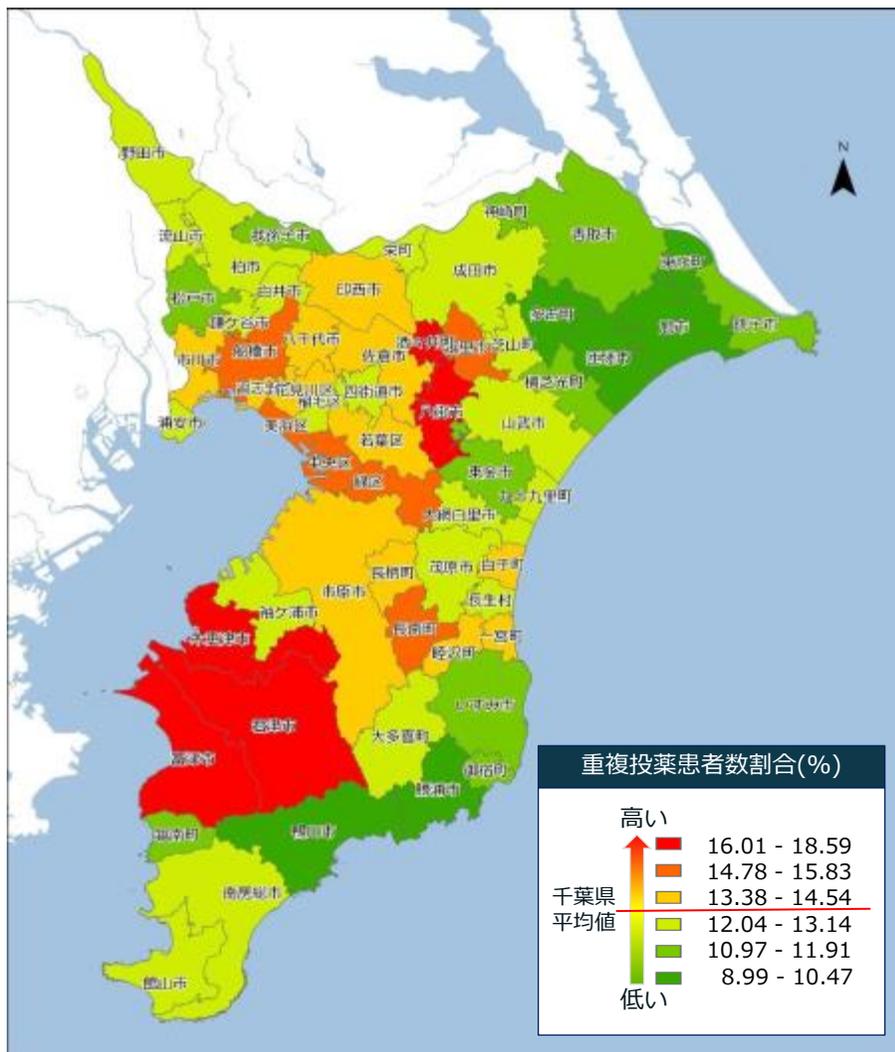
- ・同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された（重複投薬）患者数割合（国保）は、2次医療圏別に見ると、君津医療圏で最も高く、香取海匝医療圏で最も低くなっている。【6-1】
- ・同一月内に複数種類の薬剤を処方された（多剤投薬）患者数割合（国保）は、2次医療圏別に見ると、東葛北部医療圏で最も高く、香取海匝医療圏で最も低くなっている。【6-2】
- ・同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された（重複投薬）患者数割合（後期高齢者）は、2次医療圏別に見ると、君津医療圏で最も高く、香取海匝医療圏で最も低くなっている。【6-3】
- ・同一月内に複数種類の薬剤を処方された（多剤投薬）患者数割合（後期高齢者）は、2次医療圏別に見ると、東葛南部医療圏で最も高く、香取海匝医療圏で最も低くなっている。【6-4】
- ・重複投薬、多剤投薬ともに国保と後期高齢者で大きな傾向の差は見られない為、地域的な特性が影響している可能性がある。また、君津医療圏のように重複投薬の割合が高く、多剤投薬は平均といった異なる傾向がみられた。【6-1、6-2、6-3、6-4】
- ・同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された（重複投薬）患者数割合の年度別推移を見ると、国保では2医療機関の患者数割合に増加傾向が見られ、後期高齢者では大きな変化が見られなかった。【6-5】
- ・同一月内に複数種類の薬剤を処方された（多剤投薬）患者数割合の年度別推移を見ると、国保では大きな変化が見られず、後期高齢者では若干の減少傾向が見られた。【6-6】

■重複投薬・多剤投薬患者数割合

各市町村や2次医療圏等の被保険者数に占める重複投薬患者、多剤投薬患者の割合を表す。

6-1 . 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（国保）

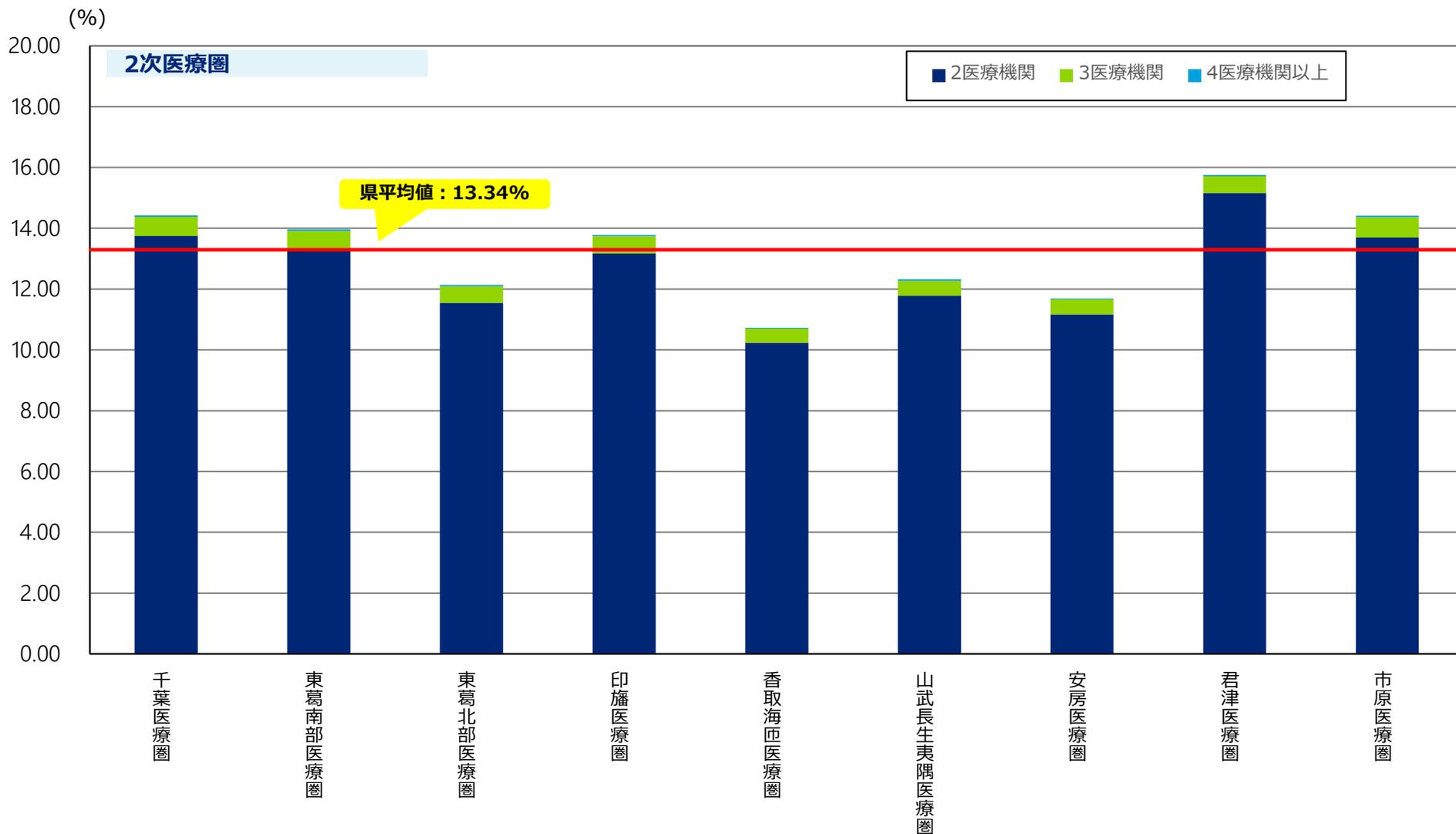
- 同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者の割合は、県平均で13.34%となっている。
- 地域で比較すると、隣接する君津市、富津市、木更津市が高い傾向にある。



市区町村	重複投薬患者数割合 (%)	市区町村	重複投薬患者数割合 (%)
印旛郡酒々井町	18.59	館山市	12.89
君津市	16.85	袖ヶ浦市	12.82
富津市	16.56	茂原市	12.72
木更津市	16.04	大網白里市	12.72
八街市	16.01	鎌ヶ谷市	12.70
長生郡長南町	15.83	山武市	12.54
富里市	15.20	印旛郡栄町	12.48
千葉市緑区	15.15	夷隅郡大多喜町	12.45
船橋市	14.95	柏市	12.36
千葉市中央区	14.87	南房総市	12.35
千葉市美浜区	14.78	山武郡九十九里町	12.35
千葉市花見川区	14.54	四街道市	12.06
長生郡長柄町	14.42	流山市	12.04
市原市	14.41	松戸市	11.91
千葉市若葉区	14.31	夷隅郡御宿町	11.68
習志野市	14.17	香取郡神崎町	11.59
佐倉市	13.63	いすみ市	11.50
長生郡睦沢町	13.57	香取市	11.48
長生郡一宮町	13.55	山武郡横芝光町	11.44
長生郡白子町	13.53	安房郡鋸南町	11.39
八千代市	13.51	東金市	11.25
市川市	13.46	我孫子市	11.09
印西市	13.38	銚子市	10.97
白井市	13.14	勝浦市	10.47
野田市	13.10	旭市	10.25
長生郡長生村	13.08	匝瑳市	10.21
成田市	13.06	香取郡東庄町	10.00
山武郡芝山町	12.97	香取郡多古町	9.89
千葉市稲毛区	12.96	鴨川市	8.99
浦安市	12.92	千葉県平均値	13.34

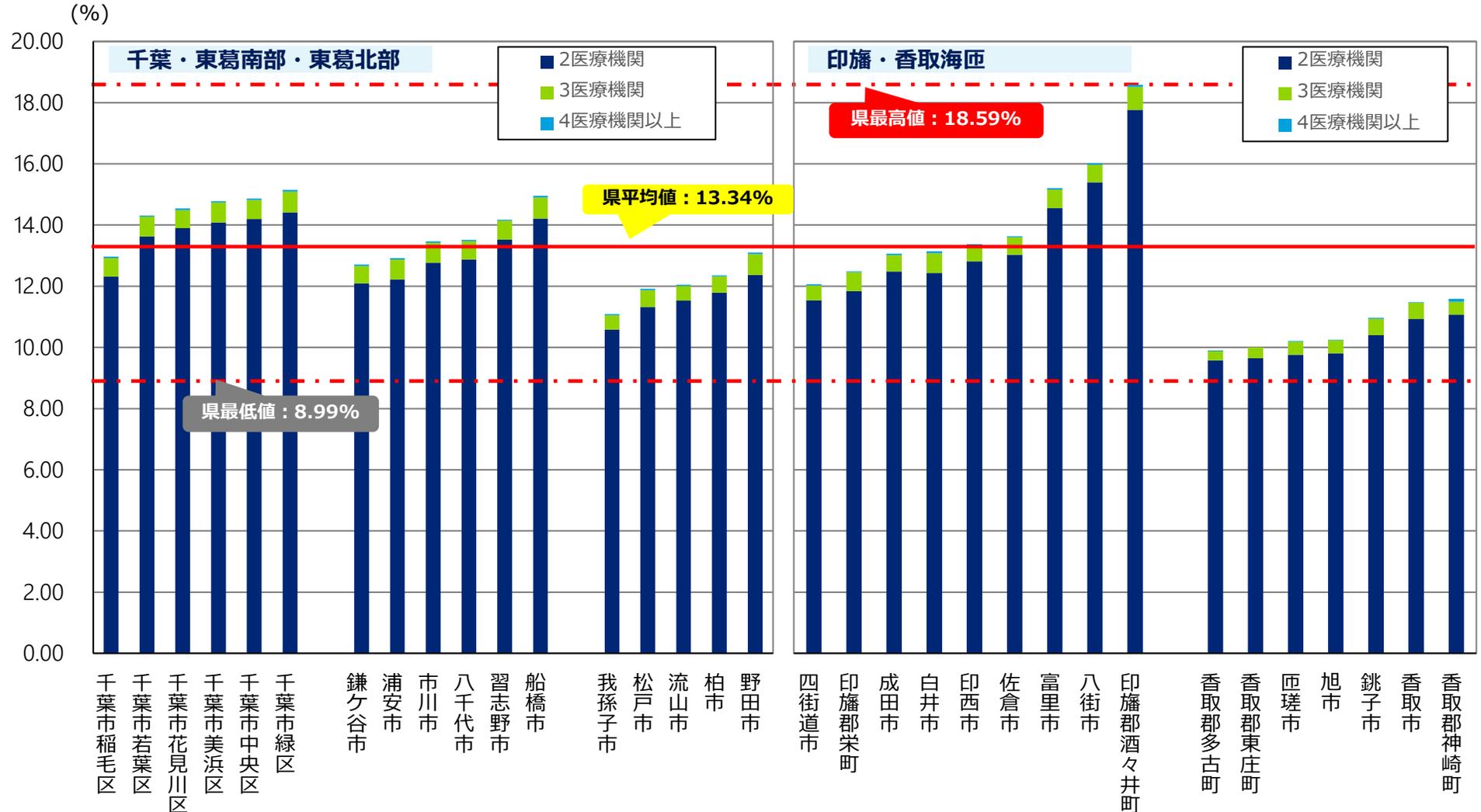
6-1 . 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（国保） 2次医療圏

- 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（国保）は、2次医療圏別に見ると、君津医療圏で最も高く、香取海浜医療圏で最も低くなっている。



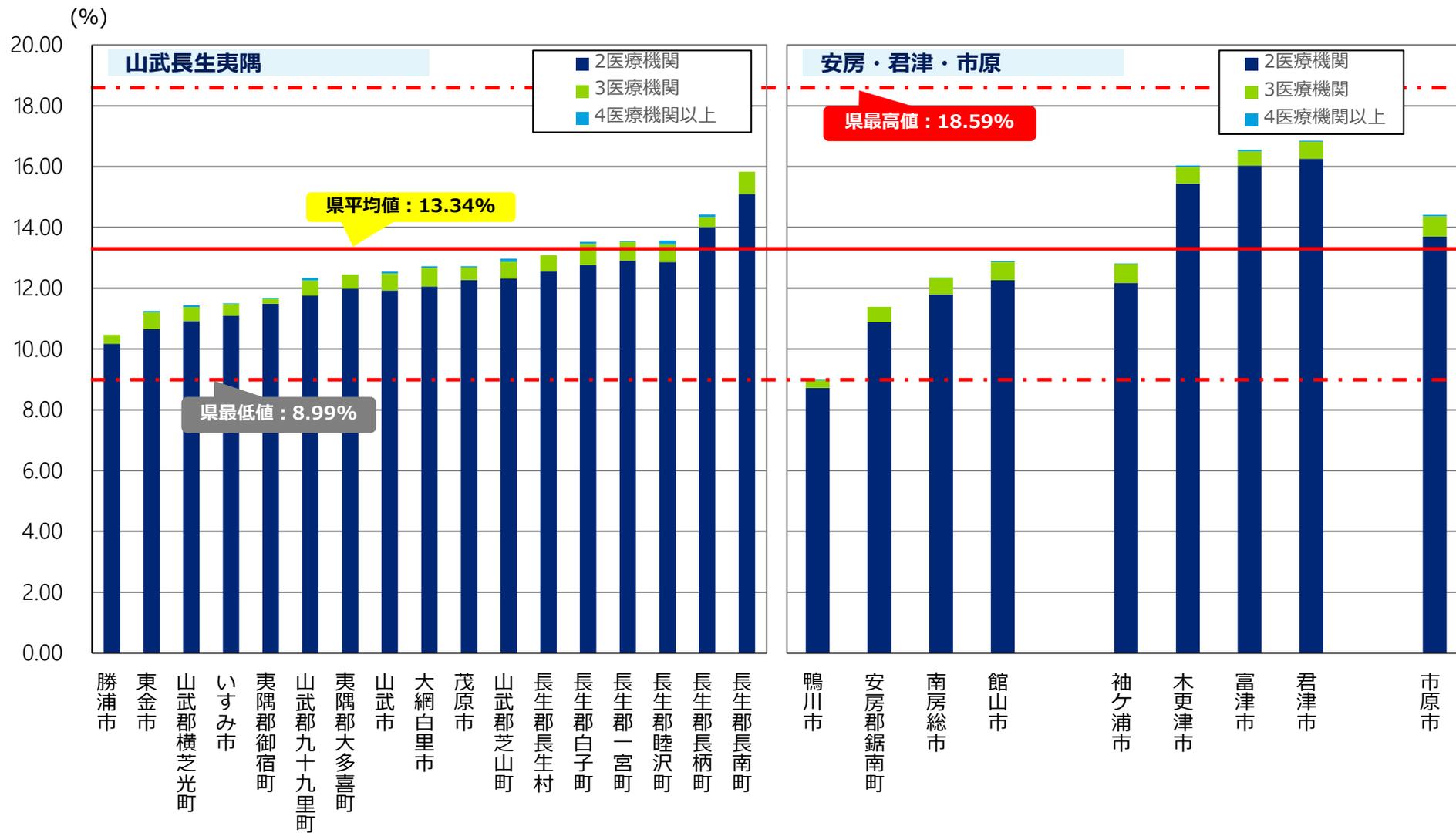
6-1. 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（国保） 千葉・東葛南部・東葛北部／印旛・香取海匝

- 千葉では、稲毛区を除くすべての区で千葉県平均値を上回っている。また、東葛北部のすべての市町村で千葉県平均値を下回っている。
- 印旛区の印旛郡酒々井町で、千葉県最高値となっている。また、香取海匝のすべての市町村で千葉県平均値を下回っている。



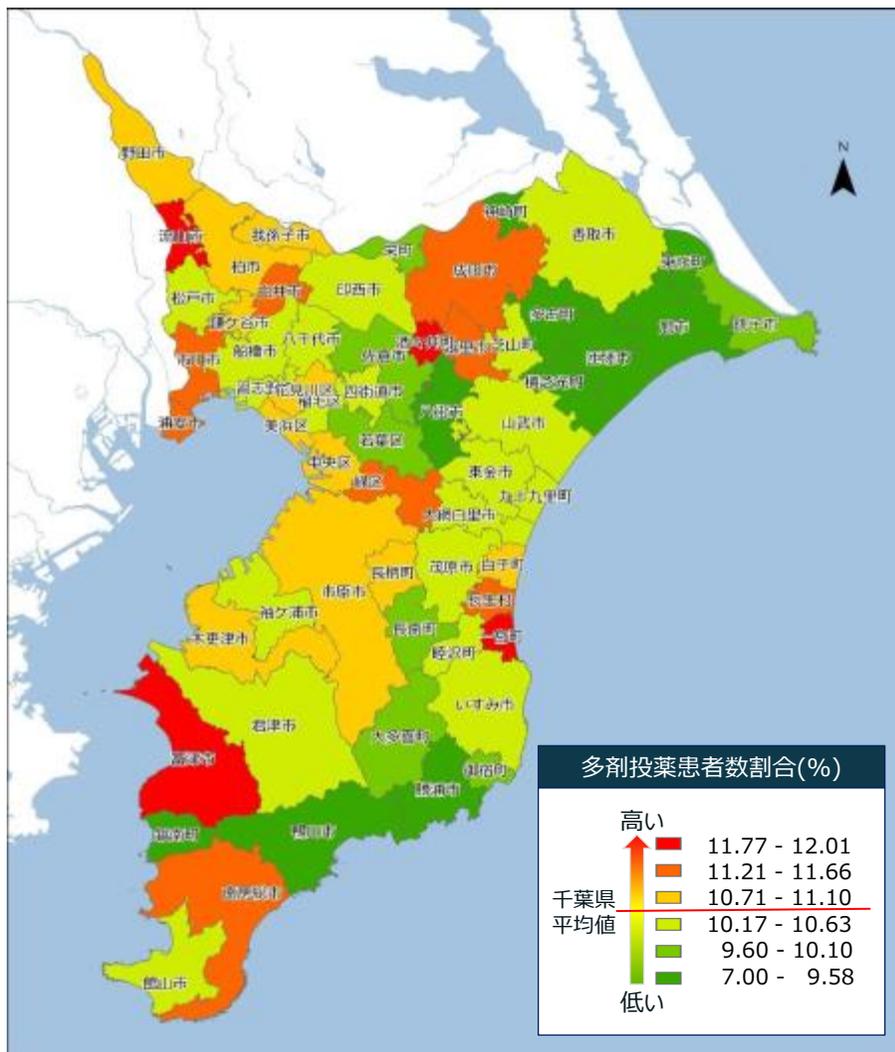
6-1. 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（国保） 山武長生夷隅／安房・君津・市原

- 山武長生夷隅では、半数以上の市町村が千葉県平均値を下回っている。
- 安房のすべての市町村で千葉県平均値を下回っている。また、鴨川市で千葉県最低値となっている。



6-2. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（国保）

- 複数種類（月15種類以上）の薬剤が処方された患者の割合は、県平均で10.66%となっている。
- 割合が高い地域は県内に点在しており、地域的な傾向は見られない。



市区町村	多剤投薬患者数割合 (%)	市区町村	多剤投薬患者数割合 (%)
富津市	12.01	松戸市	10.51
流山市	11.90	大網白里市	10.50
印旛郡酒々井町	11.77	袖ヶ浦市	10.41
長生郡一宮町	11.77	習志野市	10.41
浦安市	11.66	印西市	10.41
富里市	11.55	四街道市	10.38
市川市	11.39	いすみ市	10.38
長生郡長生村	11.33	東金市	10.26
白井市	11.30	山武郡芝山町	10.20
千葉市緑区	11.25	長生郡睦沢町	10.18
成田市	11.23	香取市	10.17
南房総市	11.21	茂原市	10.17
柏市	11.10	千葉市若葉区	10.10
市原市	10.90	印旛郡栄町	9.92
長生郡白子町	10.88	長生郡長南町	9.91
千葉市美浜区	10.84	夷隅郡大多喜町	9.85
千葉市花見川区	10.82	夷隅郡御宿町	9.74
木更津市	10.81	銚子市	9.66
千葉市中央区	10.80	佐倉市	9.60
長生郡長柄町	10.80	香取郡多古町	9.58
鎌ヶ谷市	10.78	八街市	9.57
我孫子市	10.74	旭市	9.51
野田市	10.71	山武郡横芝光町	9.45
船橋市	10.63	鴨川市	9.27
君津市	10.61	勝浦市	9.17
千葉市稲毛区	10.58	香取郡神崎町	9.08
山武市	10.55	匝瑳市	8.83
八千代市	10.54	安房郡鋸南町	8.65
山武郡九十九里町	10.52	香取郡東庄町	7.00
館山市	10.51	千葉県平均値	10.66

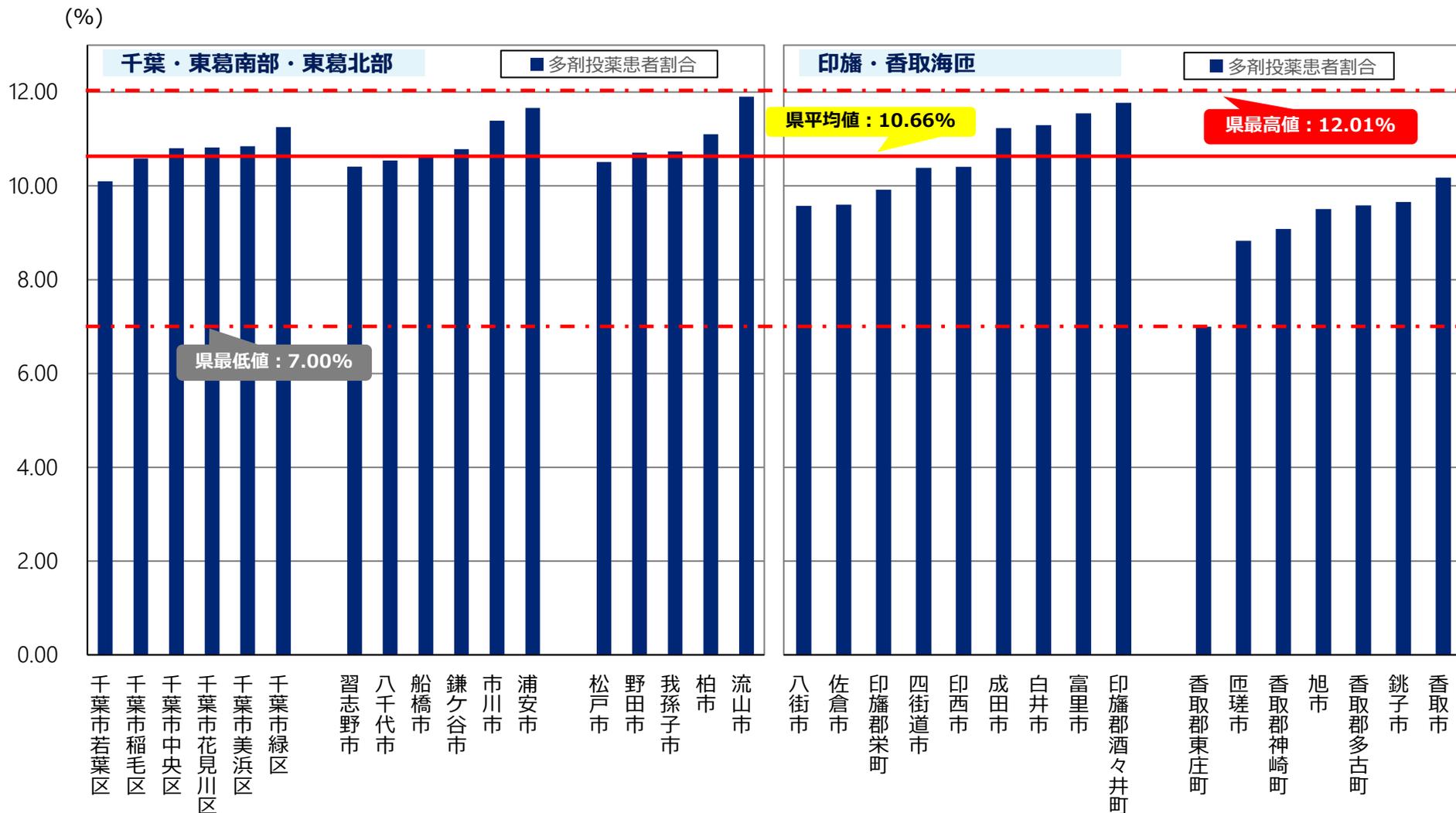
6-2. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（国保） 2次医療圏

- 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（国保）は、2次医療圏別に見ると、東葛北部医療圏で最も高く、香取海浜医療圏で最も低くなっている。



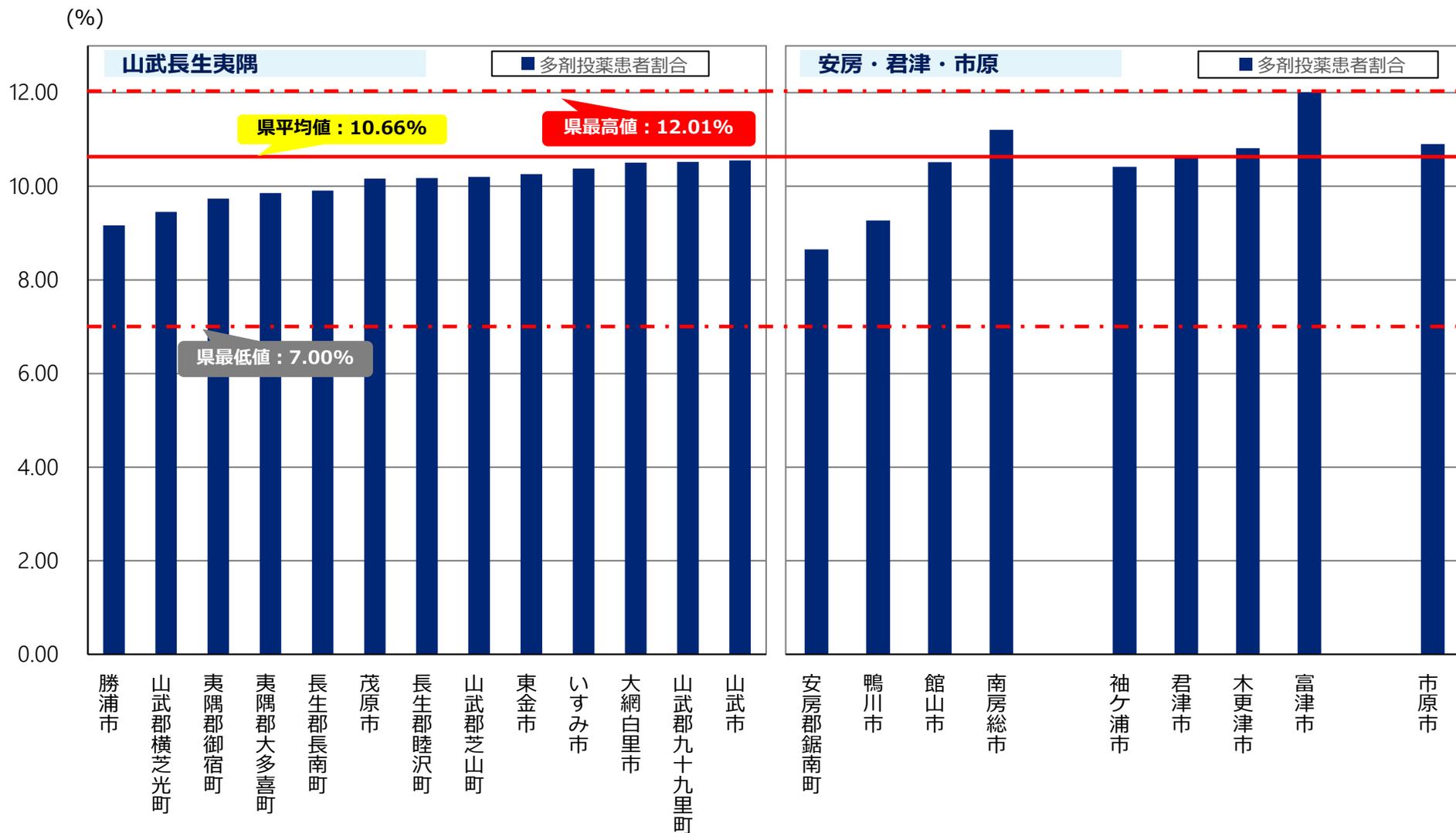
6-2. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（国保） 千葉・東葛南部・東葛北部／印旛・香取海匝

- 東葛北部において、流山市が他の市町村よりも高い値となっている。
- 香取海匝のすべての市町村で千葉県平均値を下回っている。また、香取郡東庄町で千葉県最低値となっている。



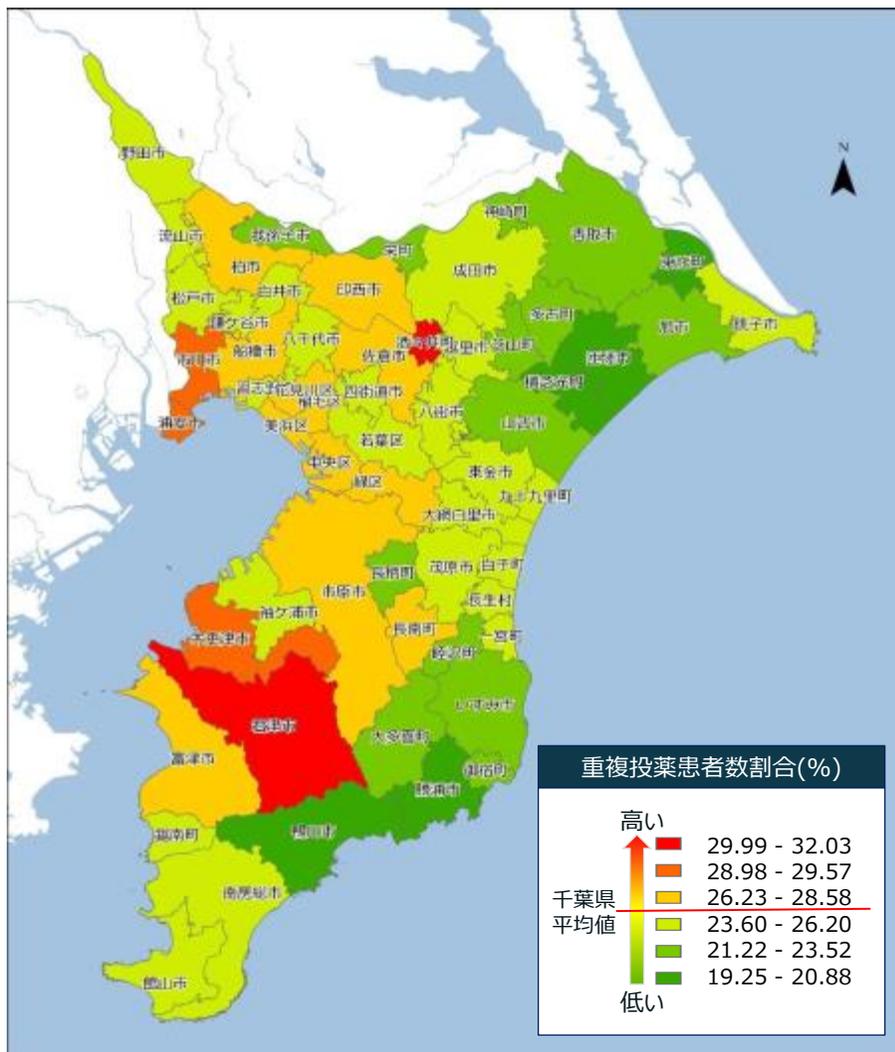
6-2. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（国保） 山武長生夷隅／安房・君津・市原

- 山武長生夷隅のすべての市町村で千葉県平均値を下回っている。
- 君津では、富津市が他の市町村よりも高い値となっており、千葉県最高値となっている。



6-3 . 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（後期高齢者）

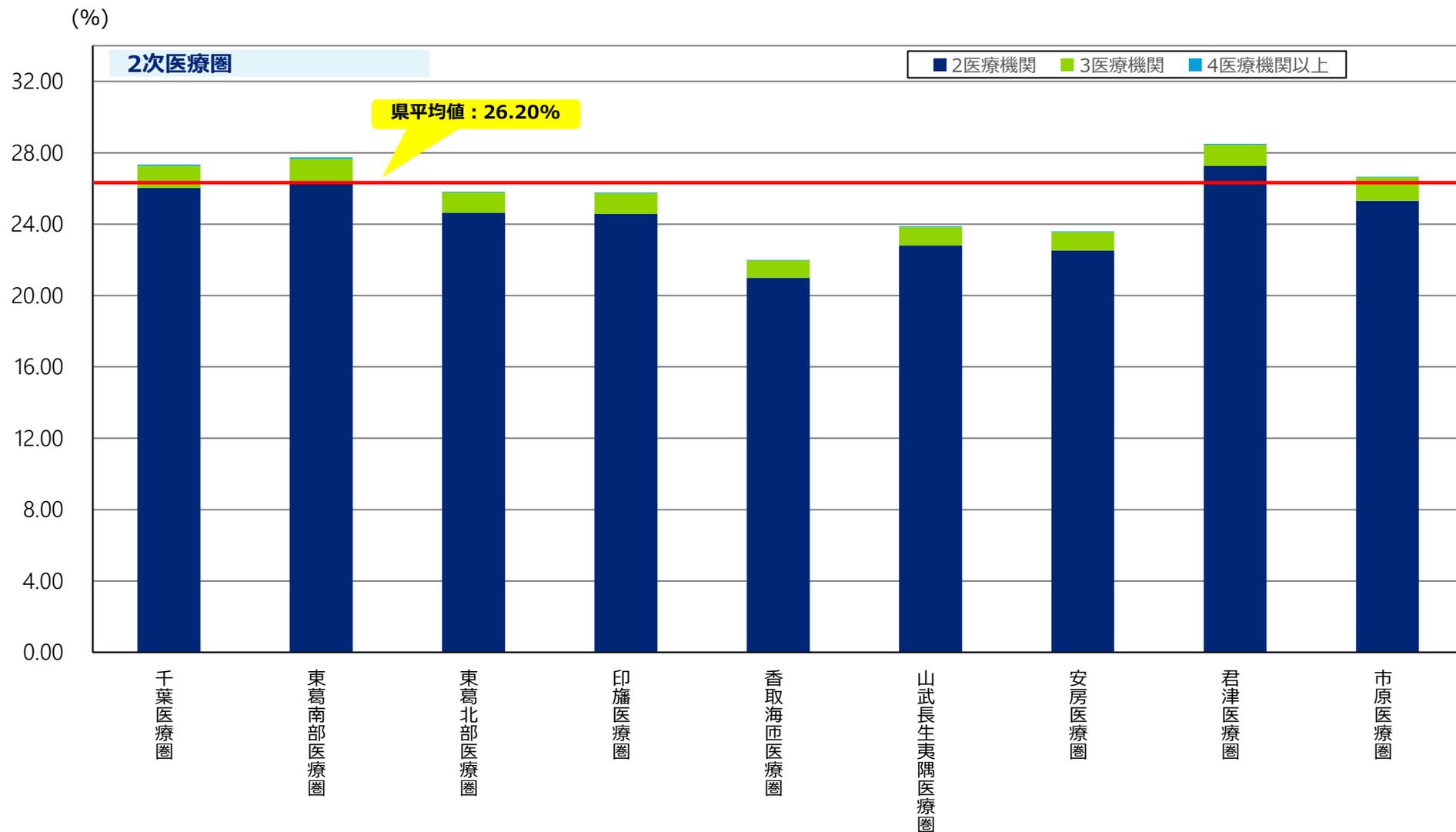
- 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合は、県平均で26.20%となっている。
- 隣接する君津市、木更津市で割合が高い地域的な傾向が見られる。



市区町村	重複投薬患者数割合 (%)	市区町村	重複投薬患者数割合 (%)
印旛郡酒々井町	32.03	館山市	25.25
君津市	29.99	白井市	25.25
木更津市	29.57	東金市	25.09
浦安市	29.26	成田市	24.65
市川市	28.98	南房総市	24.58
千葉市中央区	28.58	安房郡鋸南町	24.58
船橋市	28.32	鎌ヶ谷市	24.57
富津市	28.31	長生郡長生村	24.48
千葉市美浜区	28.23	四街道市	24.29
千葉市花見川区	27.63	銚子市	23.92
長生郡長南町	27.51	袖ヶ浦市	23.60
千葉市緑区	27.47	長生郡長柄町	23.52
印西市	26.74	我孫子市	23.46
市原市	26.66	印旛郡栄町	23.29
千葉市稲毛区	26.43	山武市	23.04
佐倉市	26.40	夷隅郡御宿町	22.91
柏市	26.23	長生郡睦沢町	22.73
松戸市	26.20	香取郡多古町	22.36
流山市	26.19	旭市	21.78
八街市	26.14	いすみ市	21.63
八千代市	26.05	香取市	21.45
習志野市	26.00	香取郡神崎町	21.36
長生郡白子町	25.97	山武郡芝山町	21.34
大網白里市	25.93	夷隅郡大多喜町	21.22
長生郡一宮町	25.82	匝瑳市	20.88
千葉市若葉区	25.77	山武郡横芝光町	20.77
富里市	25.73	鴨川市	19.54
茂原市	25.69	勝浦市	19.42
野田市	25.59	香取郡東庄町	19.25
山武郡九十九里町	25.45	千葉県平均値	26.20

6-3 . 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（後期高齢者） 2次医療圏

- 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（後期高齢者）は、2次医療圏別に見ると、君津医療圏で最も高く、香取海浜医療圏で最も低くなっている。

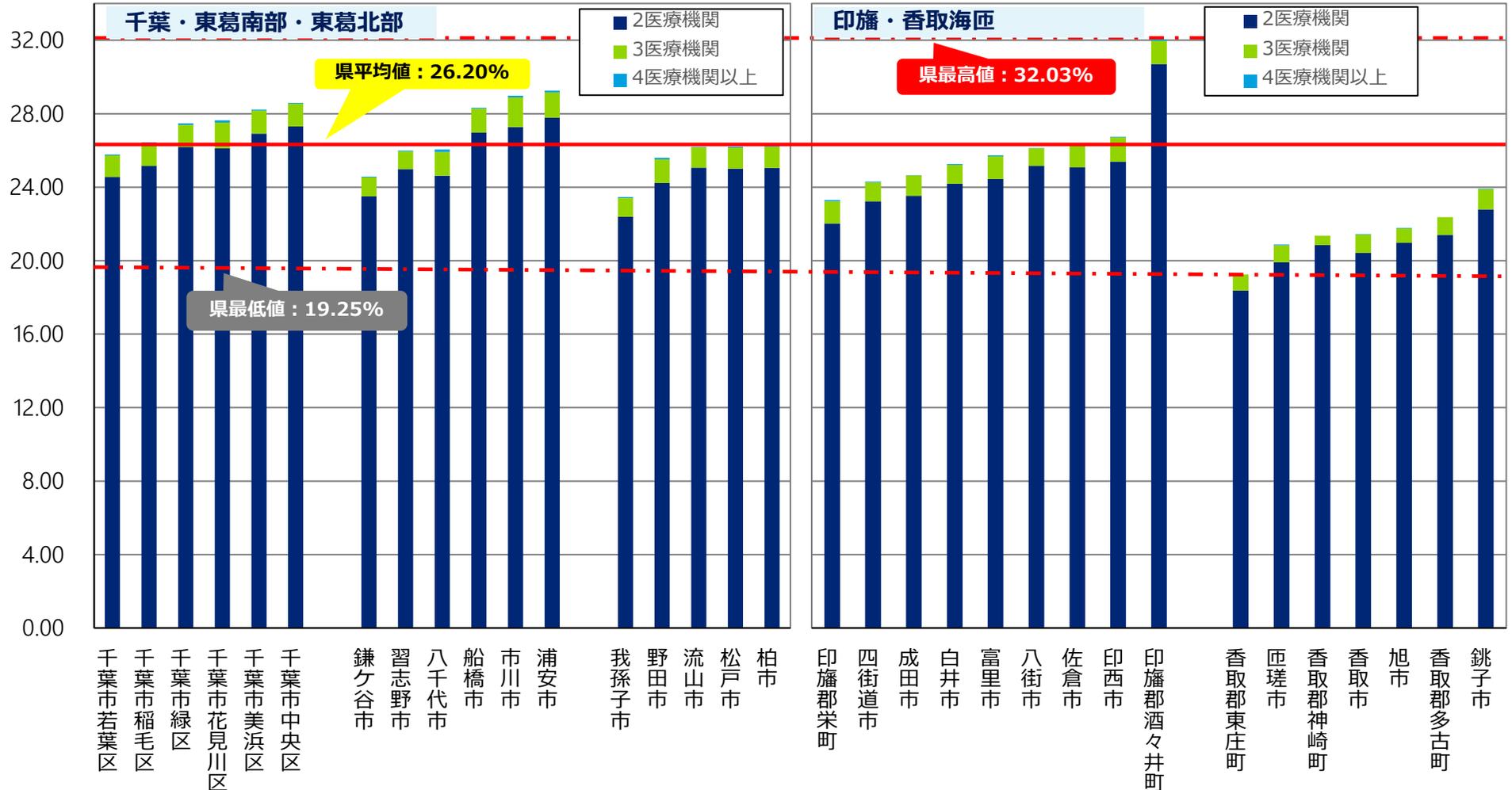


6-3 . 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（後期高齢者）

千葉・東葛南部・東葛北部 印旛・香取海匝

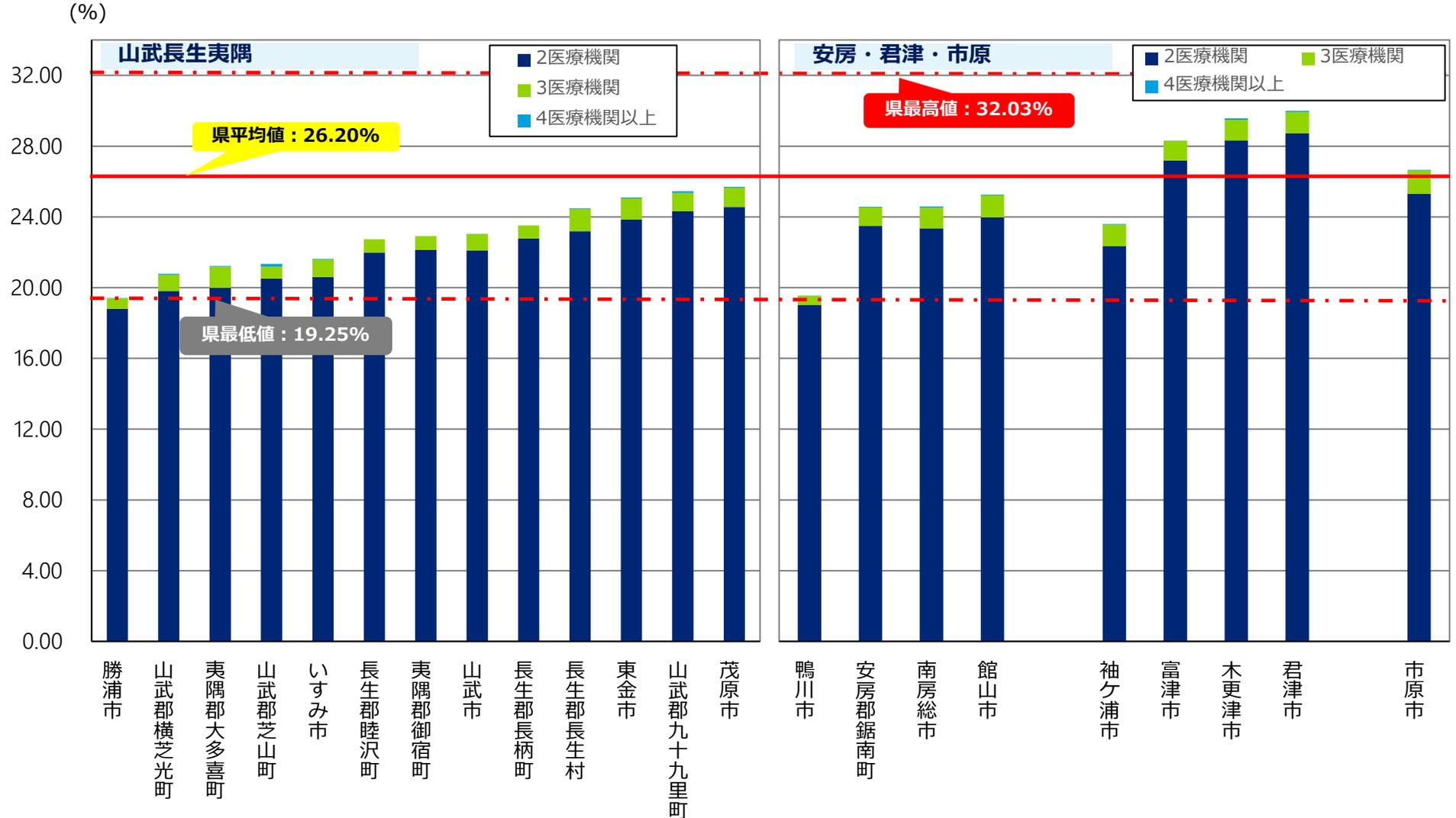
- 千葉では、若葉区を除くすべての区で千葉県平均値を上回っている。また、東葛北部のすべての市町村で千葉県平均値を下回っている。
- 印旛では、半数以上の市町村が千葉県平均値を下回っているが、印旛郡酒々井町が高い値となっており、千葉県最高値となっている。また、香取海匝のすべての市町村で千葉県平均値を下回っている。

(%)



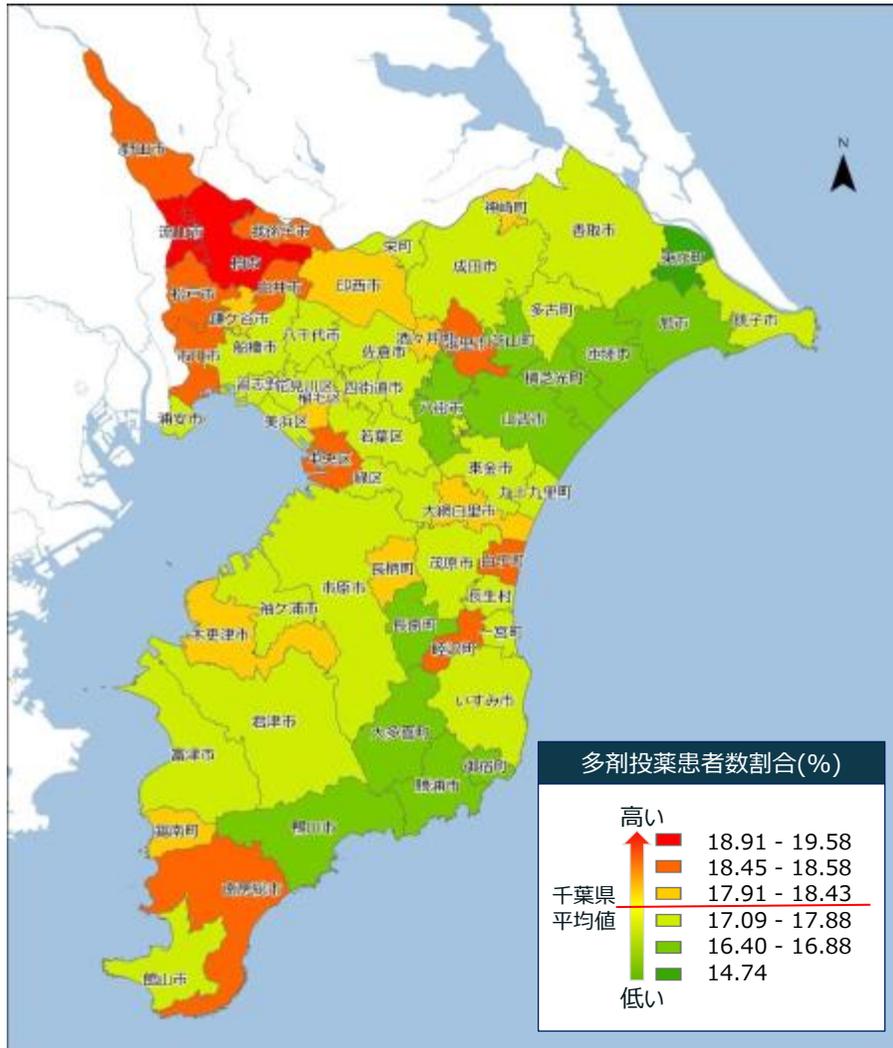
6-3 . 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（後期高齢者） 山武長生夷隅／安房・君津・市原

- 山武長生夷隅のすべての市町村で千葉県平均値を下回っている。
- 安房のすべての市町村で千葉県平均値を下回っている。また、君津では袖ヶ浦市を除くすべての市町村で千葉県平均値を上回っている。



6-4 . 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（後期高齢者）

- 複数種類の薬剤を処方された患者数割合（後期高齢者）は、県平均で17.90%となっている。
- 割合が高い地域は県北西部に多く見られる地域的な傾向がある。



市区町村	多剤投薬患者数割合 (%)	市区町村	多剤投薬患者数割合 (%)
流山市	19.58	印旛郡栄町	17.59
柏市	18.91	千葉市美浜区	17.58
白井市	18.58	君津市	17.57
我孫子市	18.51	長生郡長生村	17.56
南房総市	18.50	佐倉市	17.56
千葉市中央区	18.45	成田市	17.51
長生郡睦沢町	18.43	千葉市若葉区	17.50
松戸市	18.39	東金市	17.42
長生郡白子町	18.37	山武郡九十九里町	17.36
市川市	18.33	長生郡一宮町	17.30
富里市	18.32	香取市	17.30
野田市	18.27	四街道市	17.25
印旛郡酒々井町	18.16	銚子市	17.23
安房郡鋸南町	18.15	いすみ市	17.18
鎌ヶ谷市	18.14	袖ヶ浦市	17.15
木更津市	18.10	茂原市	17.11
香取郡神崎町	18.08	香取郡多古町	17.09
長生郡長柄町	18.06	旭市	16.88
印西市	18.01	夷隅郡御宿町	16.81
大網白里市	17.97	山武郡芝山町	16.81
千葉市稲毛区	17.91	八街市	16.79
富津市	17.88	山武市	16.77
館山市	17.85	長生郡長南町	16.76
習志野市	17.81	夷隅郡大多喜町	16.74
千葉市花見川区	17.81	鴨川市	16.70
船橋市	17.80	山武郡横芝光町	16.62
千葉市緑区	17.79	勝浦市	16.40
市原市	17.64	匝瑳市	16.40
浦安市	17.64	香取郡東庄町	14.74
八千代市	17.63	千葉県平均値	17.90

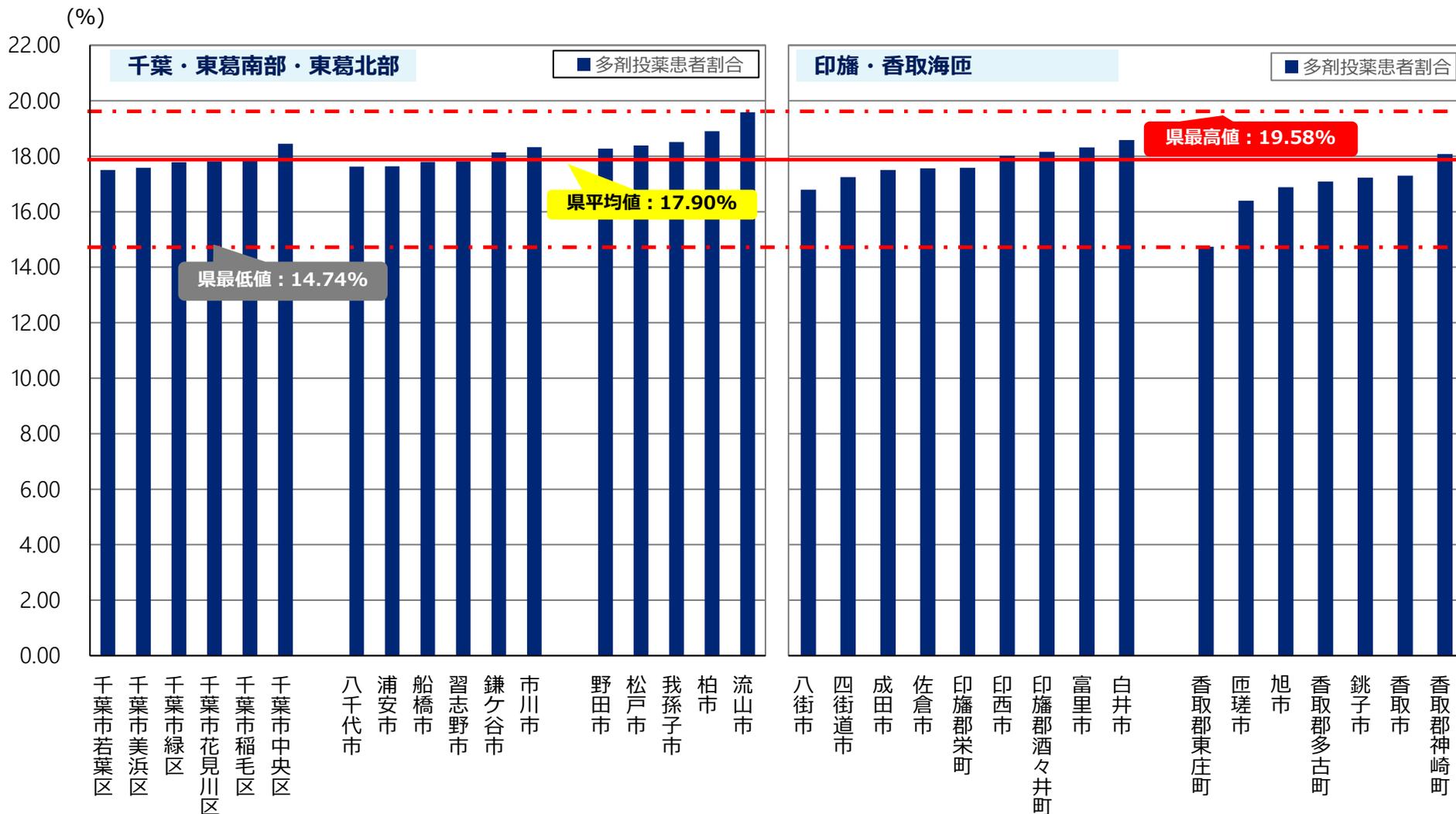
6-4 . 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（後期高齢者） 2次医療圏

- 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（後期高齢者）は、2次医療圏別に見ると、東葛南部医療圏で最も高く、香取海浜医療圏で最も低くなっている。
- 東葛南部医療圏のみが千葉県平均値を上回っている。



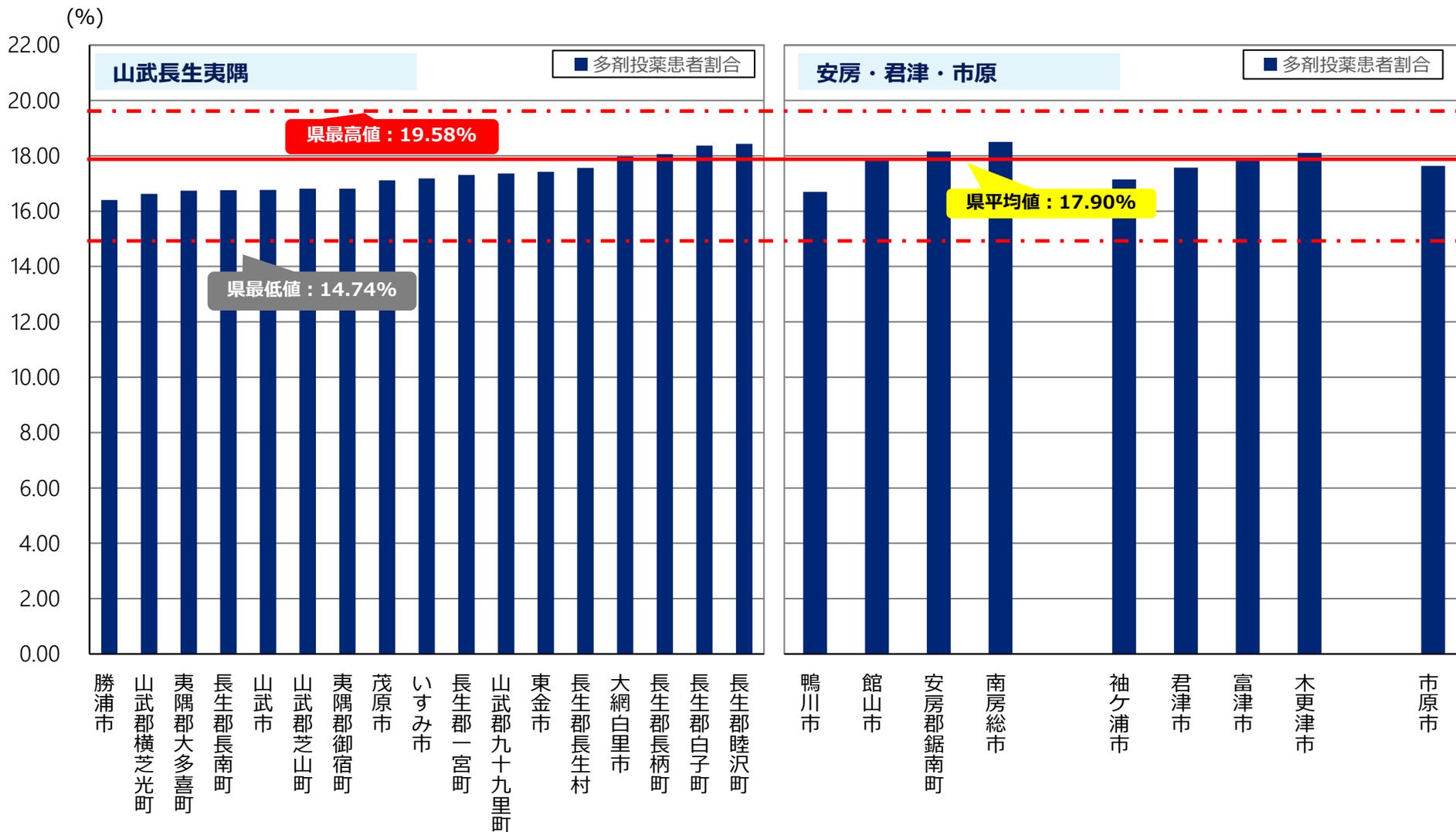
6-4 . 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（後期高齢者） 千葉・東葛南部・東葛北部 / 印旛・香取海匝

- 千葉では、中央区を除くすべての区で千葉県平均値を下回っている。また、東葛北部のすべての市町村で千葉県平均値を上回っており、流山市で千葉県最高値となっている。
- 香取海匝では香取郡神崎町を除くすべての市町村で千葉県平均値を下回っており、香取郡東庄町で千葉県最低値となっている。



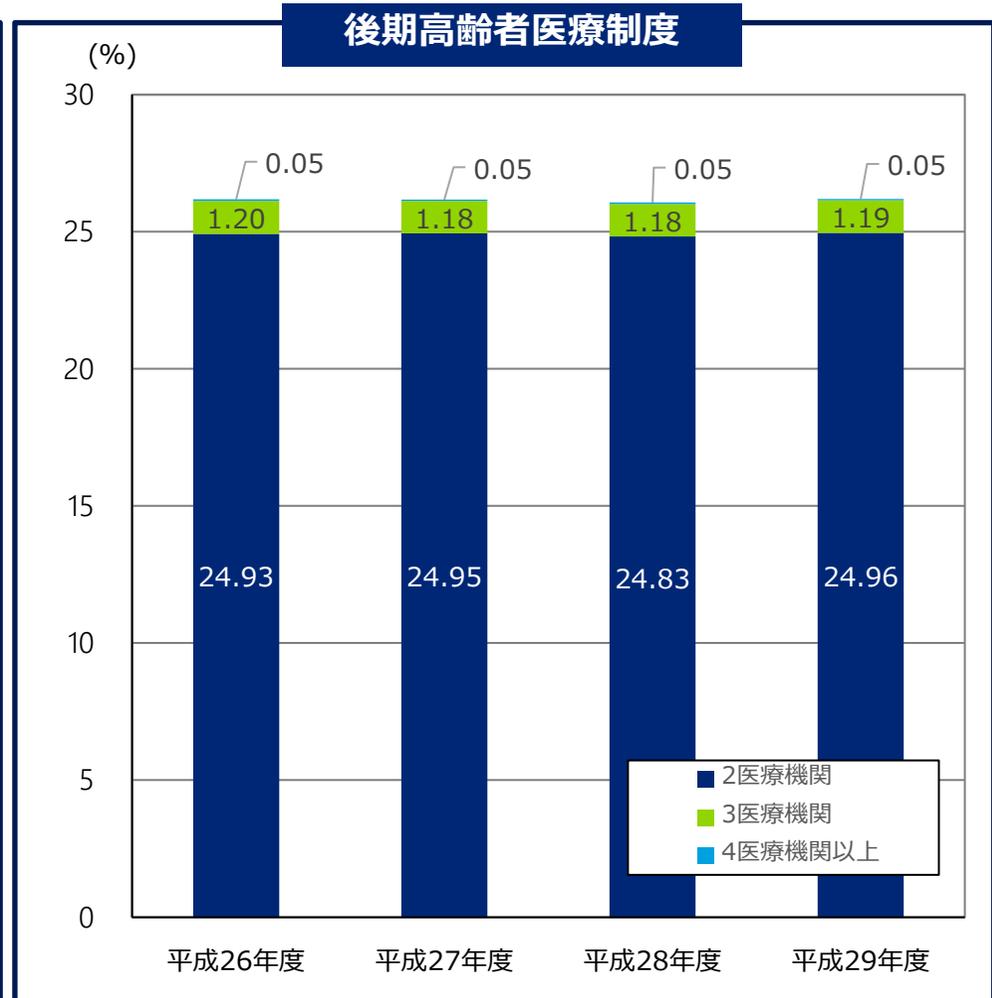
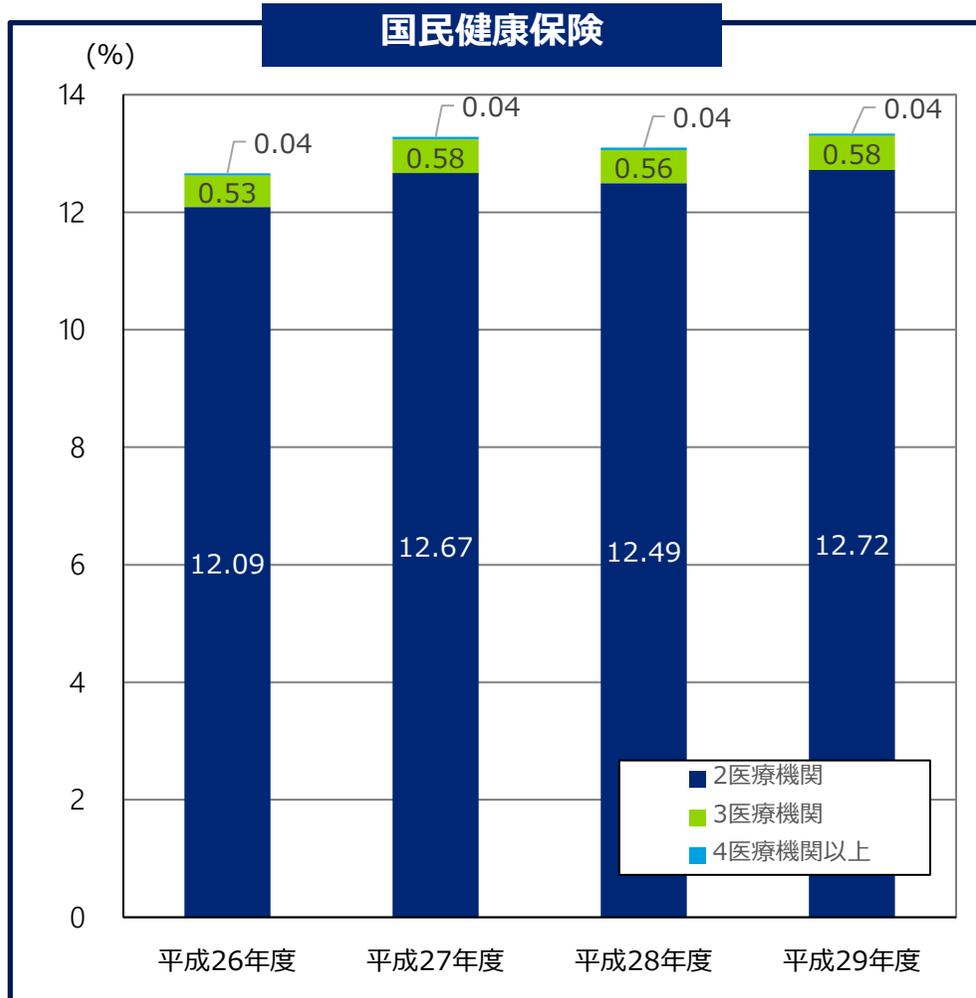
6-4 . 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（後期高齢者） 山武長生夷隅／安房・君津・市原

- 山武長生夷隅では、半数以上の市町村が千葉県平均値を下回っている。
- 君津では、木更津市を除くすべての市町村で千葉県平均値を下回っている。



6-5 . 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合推移

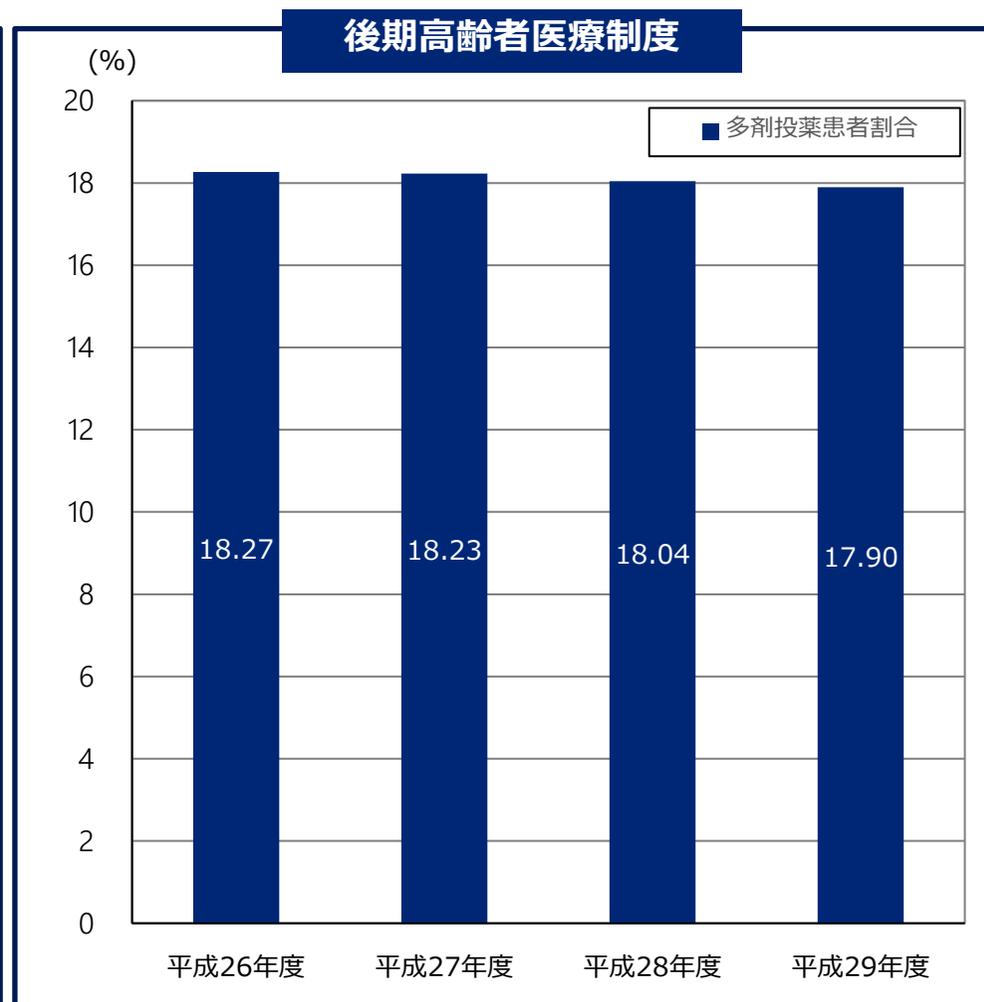
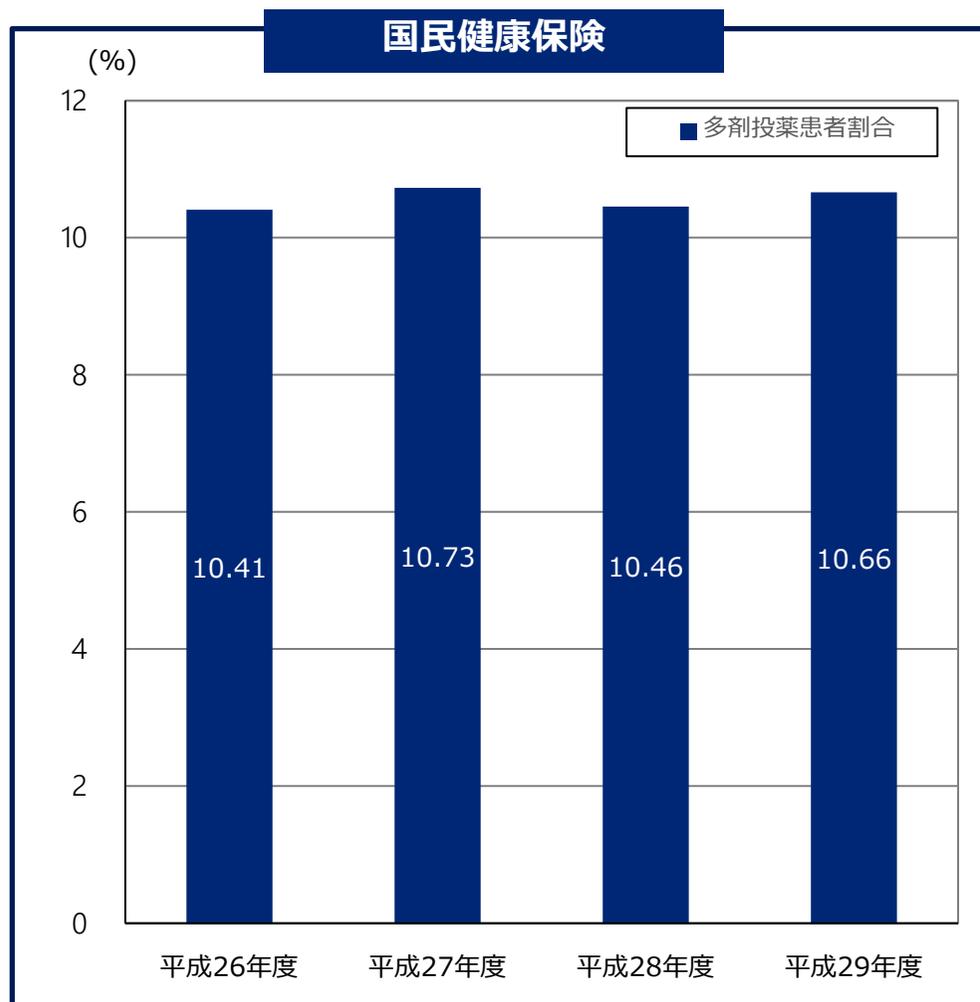
- 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合を「国保」「後期高齢者」別に見ると以下の通りとなっている。
- ① 国民健康保険 : 2医療機関の患者数割合が増加傾向にある。
 - ② 後期高齢者医療制度 : 年度別の推移では大きな変化が見られない。



6-6 . 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合推移

○ 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合を「国保」「後期高齢者」別に見ると以下の通りとなっている。

- ① 国民健康保険 : 年度別の推移では大きな変化が見られない。
- ② 後期高齢者医療制度 : 多剤投薬患者割合は若干ではあるが、年度別推移では減少傾向にある。



第7章 後発医薬品の状況

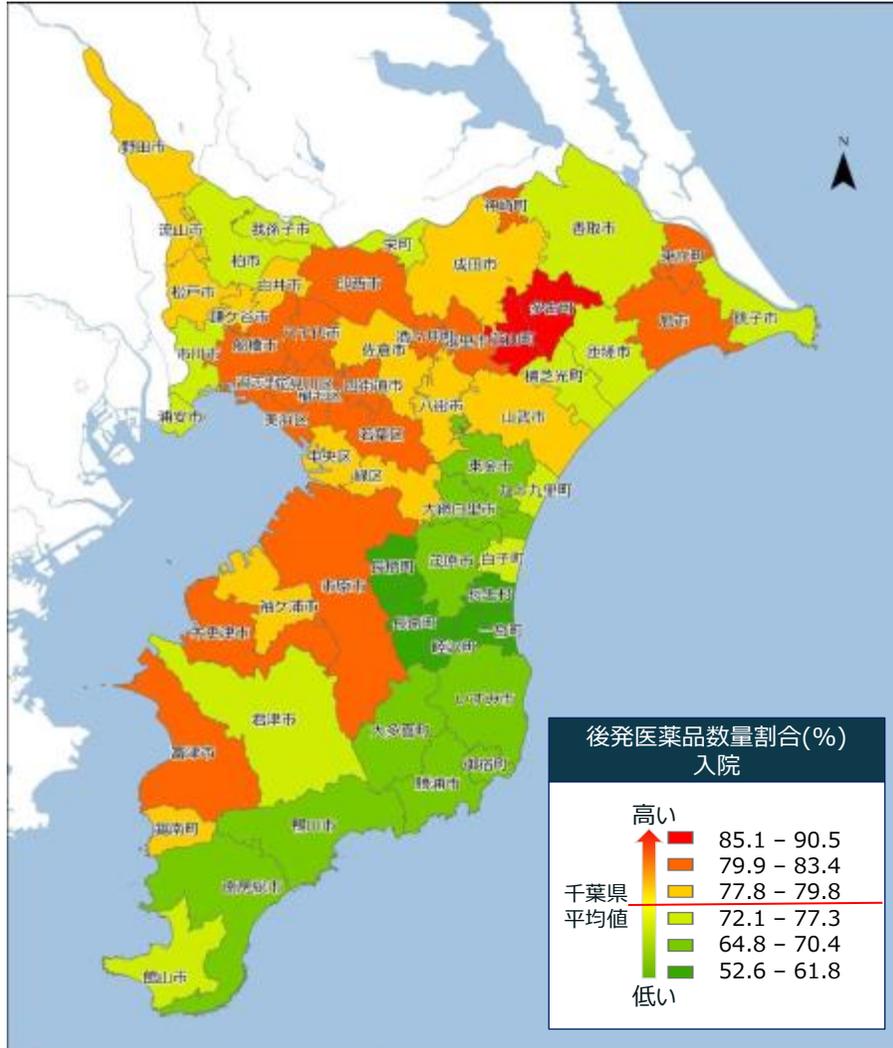
●国保及び後期高齢者医療制度に係る医療費の概況

7. 後発医薬品の状況

- ・山武長生夷隅医療圏と安房医療圏は入院より調剤の割合の方が高くなっている。市原医療圏、君津医療圏は入院・外来・調剤間に大きな差がある。【7-1】
- ・安房医療圏は入院・外来・調剤間の差は小さい。市原医療圏、君津医療圏は入院・外来・調剤間に大きな差がある。【7-2】
- ・国保と後期高齢者を比較すると、調剤で国保のほうが後発医薬品の使用割合が高い傾向にあった。【7-1、7-2】
- ・平成29年度のNDBデータにおける千葉県国保の後発医薬品の数量割合は72.1%であった。また、旭市が82.4%と最高値になっている。【7-3】
- ・国保と後期高齢者において年度別推移を見ると、国保および後期高齢者で入院、外来、調剤ともに数量割合が増加傾向にあった。【7-4】

7-1 . 後発医薬品の数量割合（国保） 入院

- 千葉県国保の平成29年度の後発品の数量割合（入院）は77.6%であった。
- 山武郡芝山町が90.5%と最高値になっている。

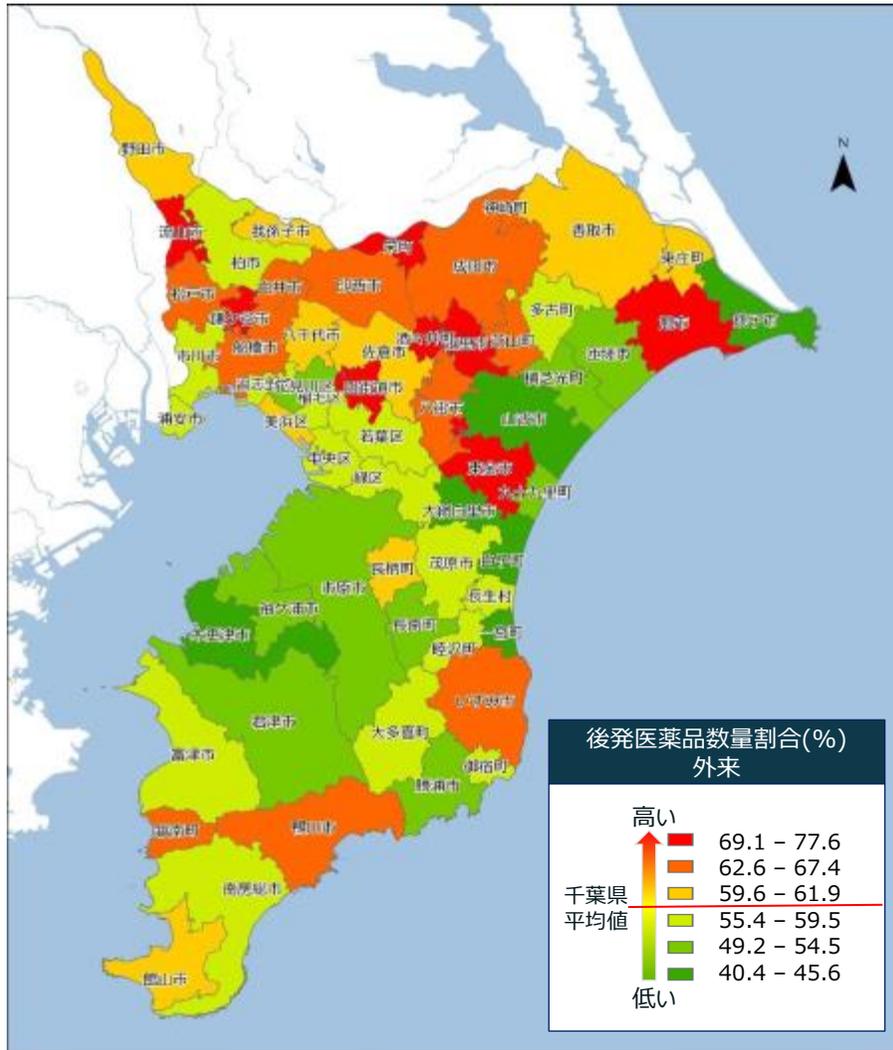


市区町村	後発医薬品 数量割合(%) 入院	市区町村	後発医薬品 数量割合(%) 入院
山武郡芝山町	90.5	流山市	78.3
香取郡多古町	85.1	佐倉市	77.8
市原市	83.4	山武郡九十九里町	77.3
印旛郡酒々井町	82.8	市川市	77.3
香取郡神崎町	82.2	我孫子市	76.8
習志野市	81.9	浦安市	75.8
千葉市美浜区	81.4	匝瑳市	75.5
八千代市	81.3	君津市	75.4
千葉市花見川区	81.1	香取市	74.5
印西市	80.8	山武郡横芝光町	74.2
千葉市稲毛区	80.6	印旛郡栄町	73.9
富津市	80.3	銚子市	73.2
木更津市	80.3	館山市	72.9
旭市	80.3	柏市	72.8
香取郡東庄町	80.2	長生郡白子町	72.1
千葉市若葉区	80.2	南房総市	70.4
富里市	80.1	東金市	70.1
船橋市	79.9	夷隅郡御宿町	69.8
四街道市	79.9	鴨川市	69.8
鎌ヶ谷市	79.8	夷隅郡大多喜町	69.2
安房郡鋸南町	79.5	大網白里市	68.5
成田市	79.4	茂原市	66.1
松戸市	79.4	勝浦市	64.9
袖ヶ浦市	79.4	いすみ市	64.8
千葉市緑区	79.3	長生郡一宮町	61.8
八街市	79.1	長生郡睦沢町	61.7
白井市	79.1	長生郡長生村	61.7
千葉市中央区	78.8	長生郡長南町	55.1
野田市	78.8	長生郡長柄町	52.6
山武市	78.5	千葉県平均	77.6

県平均値
77.6%

7-1 . 後発医薬品の数量割合（国保） 外来

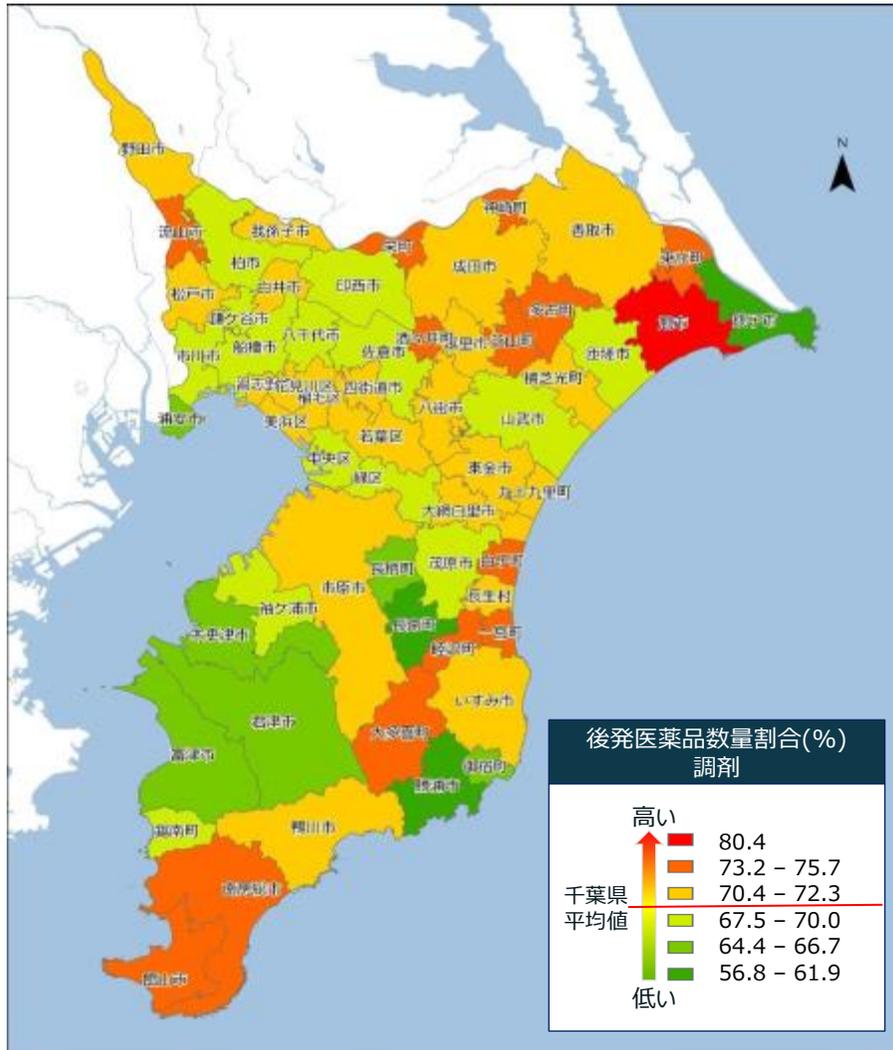
- 千葉県国保の平成29年度の後発品の数量割合（外来）は59.5%であった。
- 旭市が77.6%と最高値になっている。



市区町村	後発医薬品 数量割合(%) 外来	市区町村	後発医薬品 数量割合(%) 外来
旭市	77.6	習志野市	58.8
印旛郡栄町	76.1	千葉市緑区	58.5
鎌ヶ谷市	74.5	香取郡多古町	58.1
印旛郡酒々井町	72.4	浦安市	57.9
東金市	72.3	茂原市	57.8
四街道市	71.7	千葉市若葉区	57.7
流山市	69.8	長生郡睦沢町	57.7
富里市	69.1	柏市	57.6
山武郡芝山町	67.4	千葉市稲毛区	57.5
白井市	65.0	千葉市中央区	57.3
香取郡神崎町	64.8	夷隅郡大多喜町	57.0
印西市	64.8	市川市	56.2
八街市	64.8	長生郡長生村	55.8
いすみ市	63.7	富津市	55.4
船橋市	63.5	勝浦市	54.5
成田市	63.0	千葉市花見川区	54.3
安房郡鋸南町	62.7	君津市	54.0
松戸市	62.7	山武郡九十九里町	53.0
鴨川市	62.6	袖ヶ浦市	51.9
館山市	61.9	市原市	51.7
我孫子市	61.3	山武郡横芝光町	51.5
八千代市	61.0	匝瑳市	50.6
千葉市美浜区	60.4	長生郡長南町	49.2
佐倉市	60.2	銚子市	45.6
野田市	60.1	山武市	45.5
香取市	59.8	大網白里市	44.6
長生郡長柄町	59.7	木更津市	44.1
香取郡東庄町	59.6	長生郡一宮町	43.9
南房総市	59.5	長生郡白子町	40.4
夷隅郡御宿町	58.8	千葉県平均	59.5

7-1 . 後発医薬品の数量割合（国保） 調剤

- 千葉県国保の平成29年度の後発品の数量割合（調剤）は70.1%であった。
- 旭市が80.4%と最高値になっている。

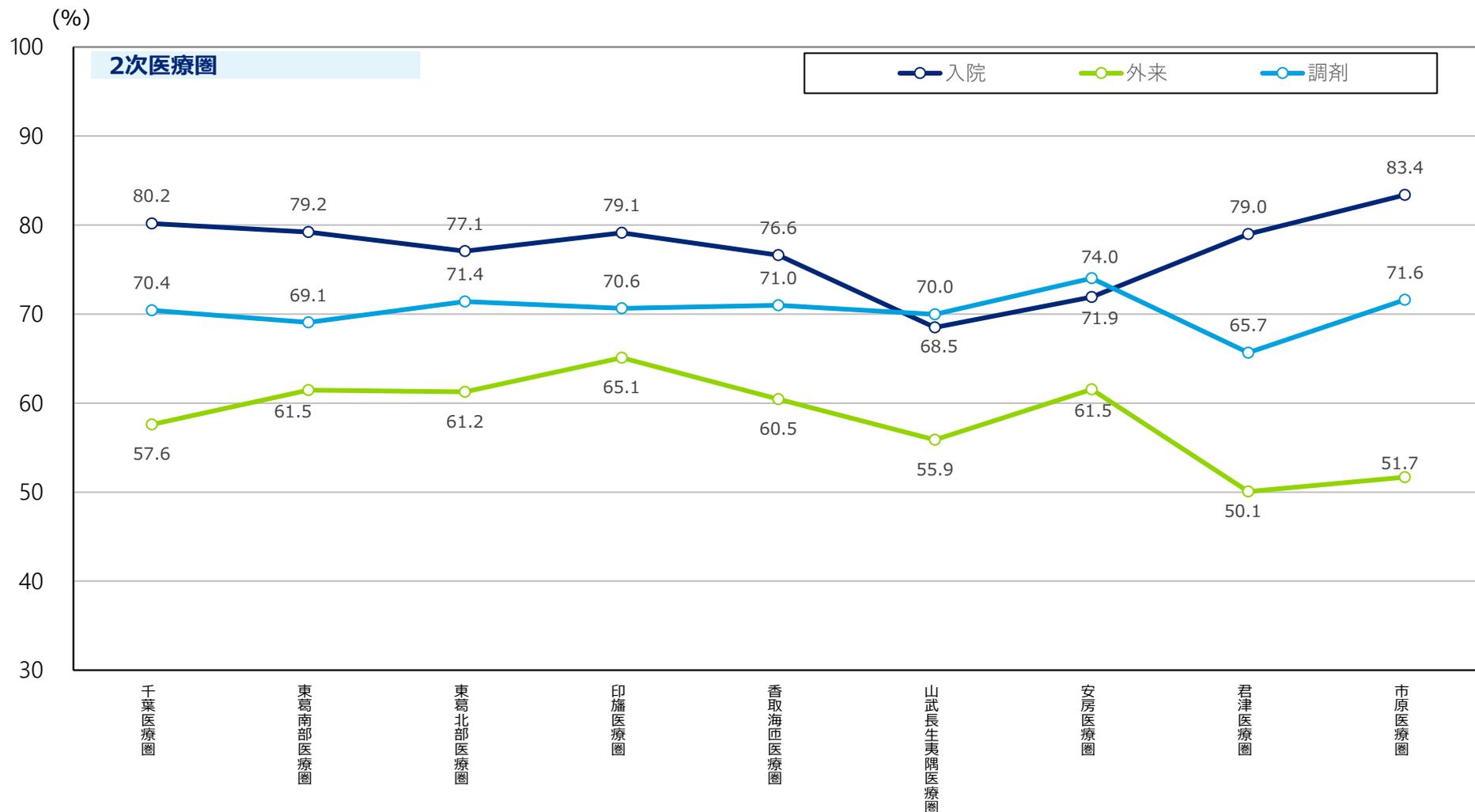


市区町村	後発医薬品 数量割合(%) 調剤	市区町村	後発医薬品 数量割合(%) 調剤
旭市	80.4	松戸市	71.2
長生郡睦沢町	75.7	富里市	71.2
香取郡神崎町	75.2	千葉市若葉区	71.0
香取郡多古町	75.2	八街市	71.0
長生郡一宮町	75.0	千葉市美浜区	70.4
館山市	75.0	いすみ市	70.4
南房総市	74.7	柏市	70.0
山武郡芝山町	74.5	山武市	69.8
香取郡東庄町	74.3	安房郡鋸南町	69.8
印旛郡酒々井町	74.2	佐倉市	69.5
夷隅郡大多喜町	74.1	八千代市	69.3
流山市	73.7	船橋市	69.3
印旛郡栄町	73.2	市川市	69.2
長生郡白子町	73.2	匝瑳市	69.1
山武郡横芝光町	72.3	千葉市中央区	69.1
野田市	72.3	千葉市緑区	68.7
香取市	72.0	鎌ヶ谷市	68.3
東金市	72.0	袖ヶ浦市	68.2
鴨川市	72.0	印西市	67.6
大網白里市	72.0	茂原市	67.5
四街道市	71.9	君津市	66.7
我孫子市	71.6	長生郡長柄町	65.4
白井市	71.6	夷隅郡御宿町	65.1
山武郡九十九里町	71.6	浦安市	64.8
市原市	71.6	富津市	64.4
千葉市稲毛区	71.5	木更津市	64.4
千葉市花見川区	71.3	長生郡長南町	61.9
成田市	71.3	銚子市	61.1
長生郡長生村	71.2	勝浦市	56.8
習志野市	71.2	千葉県平均	70.1

県平均値
70.1%

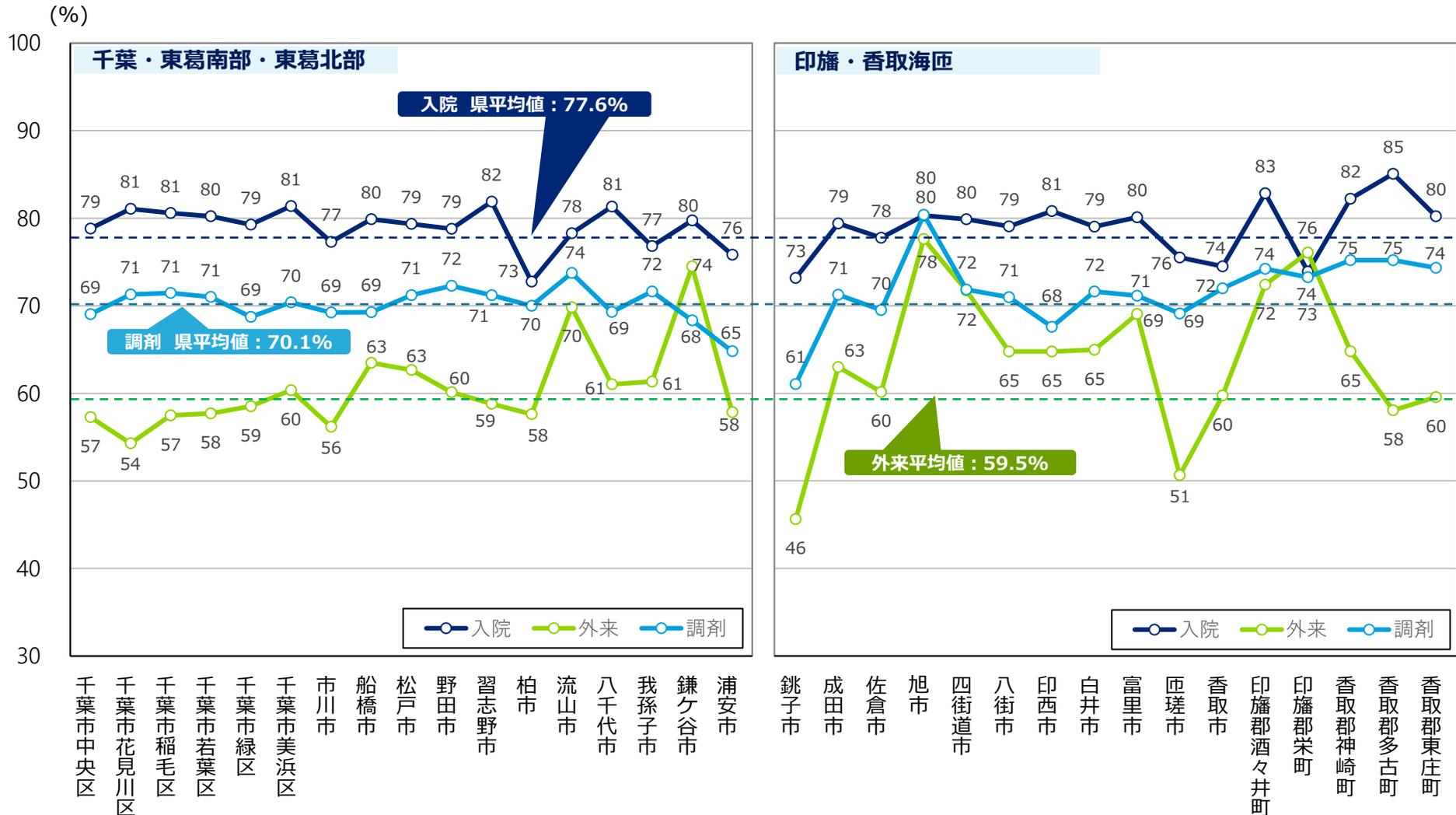
7-1 . 後発医薬品の入院・外来・調剤別数量割合（国保） 2次医療圏

- 山武長生夷隅医療圏と安房医療圏は入院より調剤の割合の方が高くなっている。
- 市原医療圏、君津医療圏は入院・外来・調剤間に大きな差がある。



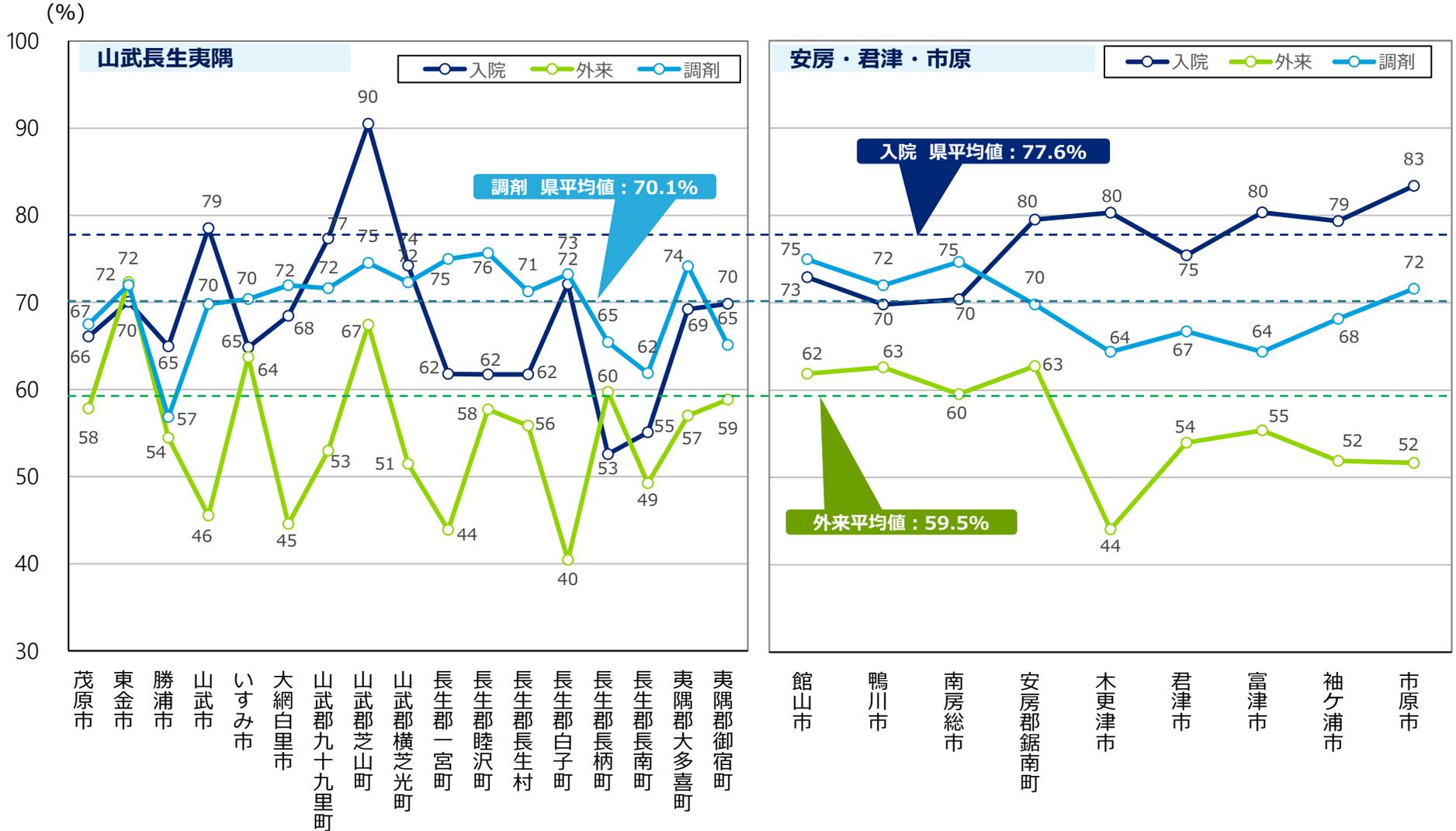
7-1 . 後発医薬品の入院・外来・調剤別数量割合（国保）千葉・東葛南部・東葛北部／印旛・香取海匝

- 千葉・東葛南部・東葛北部地域では、鎌ヶ谷市の外来が高くなっている。
- 印旛・香取海匝地域では、銚子市が全体的に低くなっている。



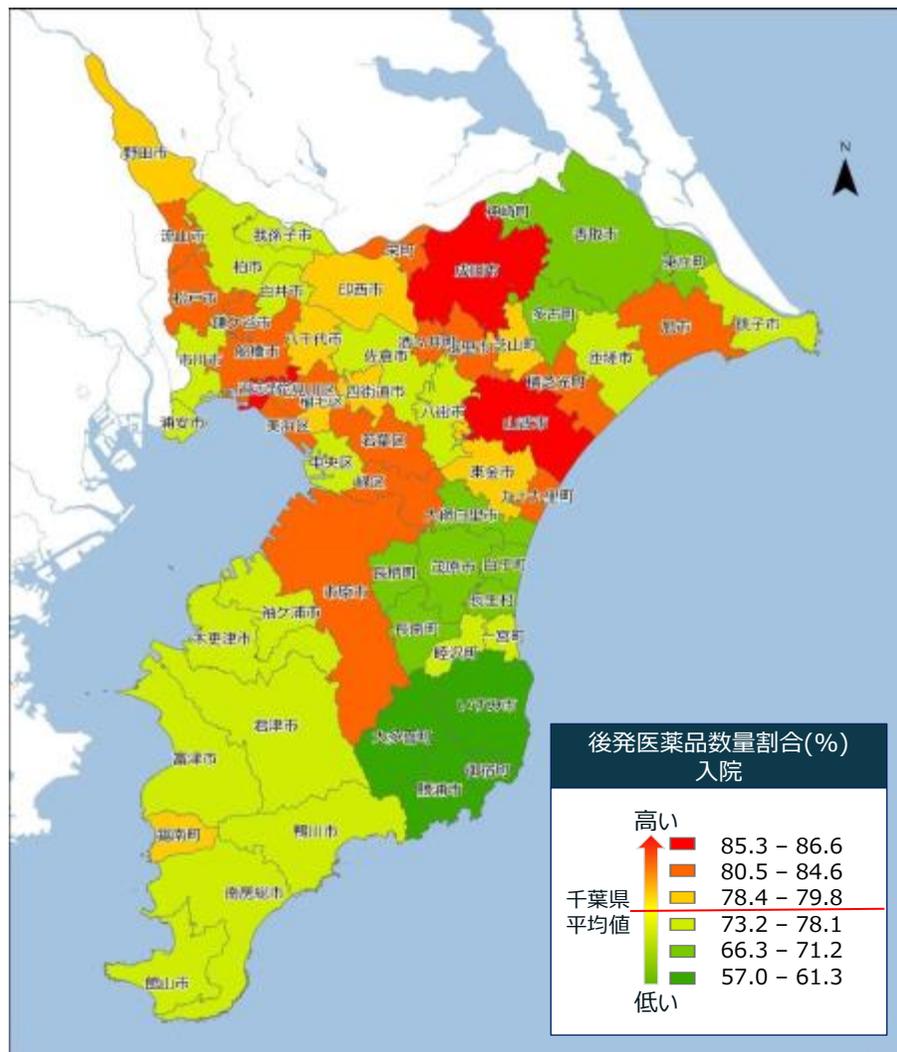
7-1 . 後発医薬品の入院・外来・調剤別数量割合（国保） 山武長生夷隅／安房・君津・市原

- 山武長生夷隅地域では、入院、外来の数量割合のばらつきが大きい。
- 安房・君津・市原地域では、木更津市の外来が低い。



7-2 . 後発医薬品の数量割合（後期高齢者） 入院

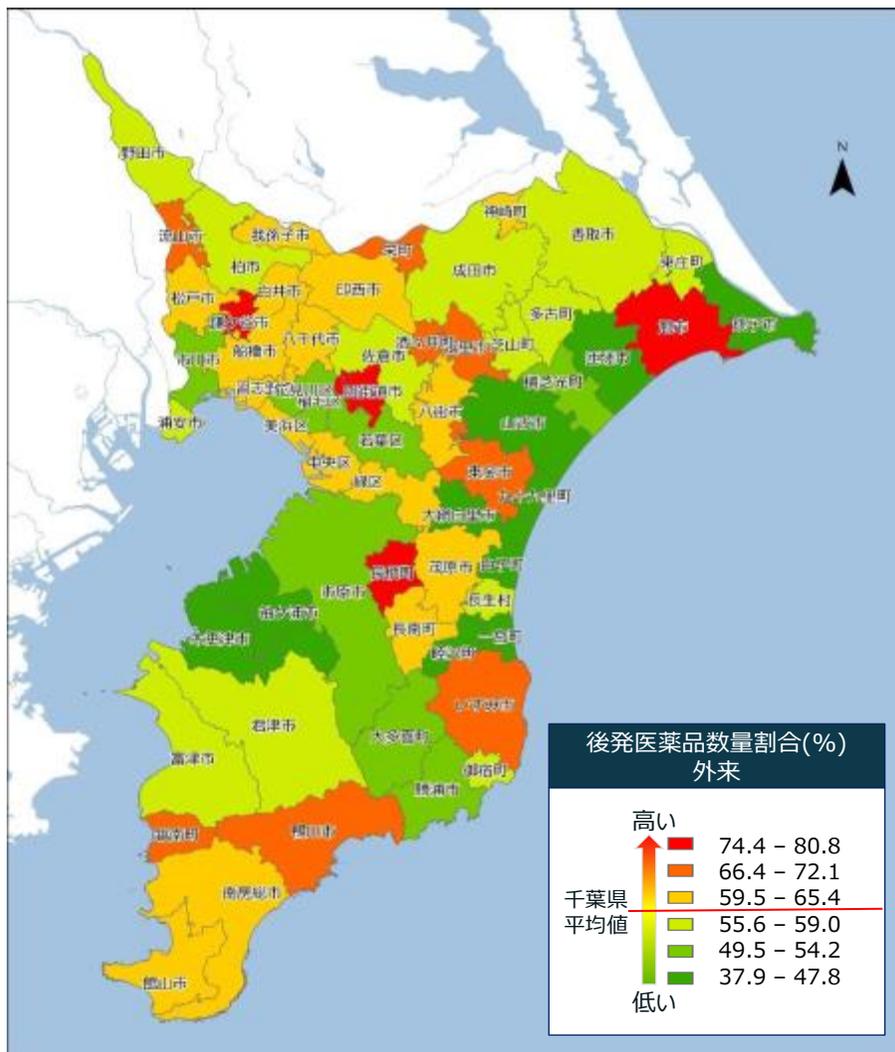
- 千葉県後期高齢者の平成29年度の後発品の数量割合（入院）は78.3%であった。
- 成田市が86.6%と最高値になっている。



市区町村	後発医薬品 数量割合(%) 入院	市区町村	後発医薬品 数量割合(%) 入院
成田市	86.6	袖ヶ浦市	77.5
山武市	85.5	八街市	77.2
習志野市	85.3	市川市	77.2
印旛郡栄町	84.6	白井市	76.6
山武郡横芝光町	84.1	館山市	76.1
市原市	83.6	浦安市	75.5
千葉市若葉区	82.4	南房総市	75.5
山武郡九十九里町	82.2	木更津市	75.2
旭市	82.2	柏市	74.8
鎌ヶ谷市	81.9	銚子市	74.7
船橋市	81.7	鴨川市	74.6
千葉市緑区	81.6	君津市	74.2
千葉市美浜区	81.4	長生郡一宮町	73.4
富里市	81.3	我孫子市	73.3
流山市	81.1	長生郡睦沢町	73.2
松戸市	80.9	香取郡神崎町	71.2
千葉市花見川区	80.5	香取市	71.0
印旛郡酒々井町	80.5	長生郡長生村	70.7
八千代市	79.8	長生郡白子町	70.1
東金市	79.2	香取郡東庄町	69.9
野田市	79.1	長生郡長柄町	68.8
印西市	79.0	長生郡長南町	68.8
四街道市	79.0	大網白里市	68.1
山武郡芝山町	79.0	茂原市	67.9
安房郡鋸南町	78.5	香取郡多古町	66.3
千葉市稲毛区	78.4	夷隅郡大多喜町	61.3
佐倉市	78.1	いすみ市	60.7
千葉市中央区	77.9	勝浦市	58.0
富津市	77.7	夷隅郡御宿町	57.0
匝瑳市	77.7	千葉県平均	78.3

7-2 . 後発医薬品の数量割合（後期高齢者） 外来

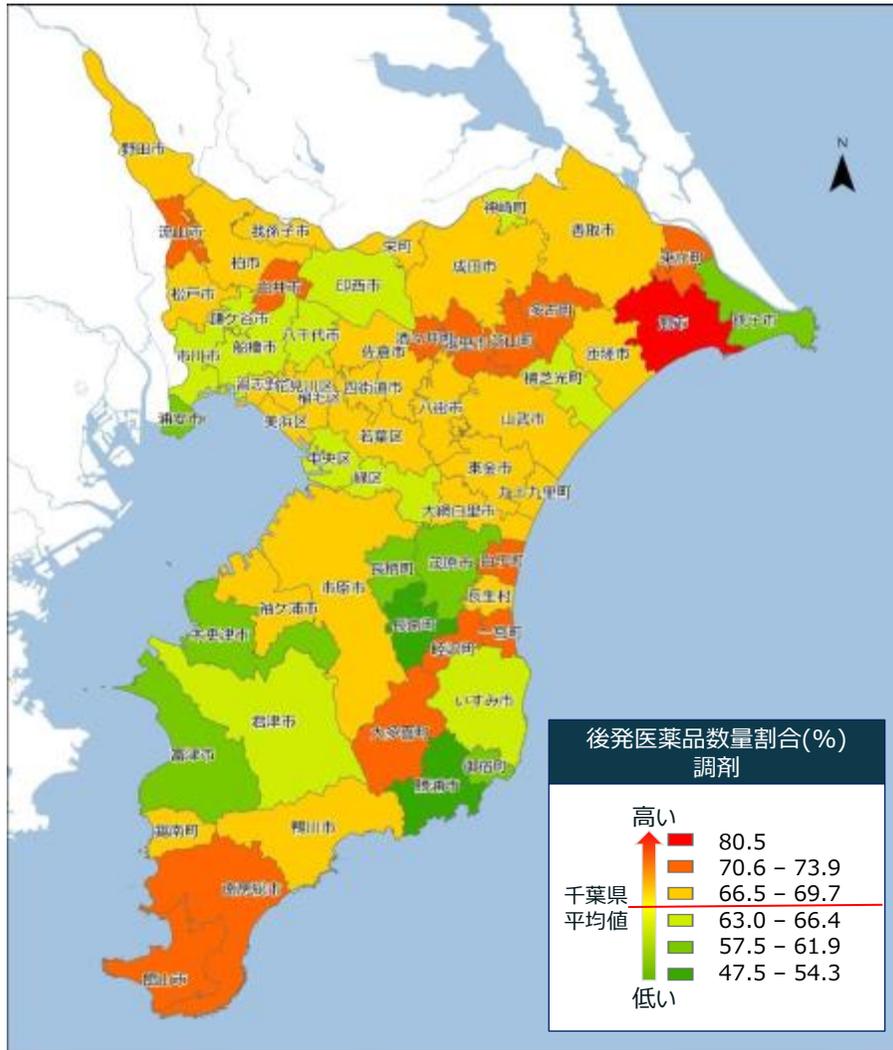
- 千葉県後期高齢者の平成29年度の後発品の数量割合（外来）は59.0%であった。
- 旭市が80.8%と最高値になっている。



市区町村	後発医薬品 数量割合(%) 外来	市区町村	後発医薬品 数量割合(%) 外来
旭市	80.8	成田市	58.8
鎌ヶ谷市	78.9	香取郡東庄町	58.6
四街道市	77.1	富津市	58.4
長生郡長柄町	74.4	山武郡芝山町	58.2
印旛郡栄町	72.1	野田市	57.7
富里市	71.6	柏市	56.8
東金市	70.7	浦安市	56.5
安房郡鋸南町	70.7	長生郡長生村	55.9
印旛郡酒々井町	69.6	佐倉市	55.7
流山市	67.8	君津市	55.6
いすみ市	67.3	香取郡多古町	55.6
鴨川市	66.4	市川市	54.2
船橋市	65.4	夷隅郡大多喜町	54.1
白井市	64.5	千葉市若葉区	53.5
館山市	64.1	勝浦市	53.3
八千代市	62.5	千葉市稲毛区	52.6
香取郡神崎町	62.4	千葉市花見川区	52.3
印西市	62.2	市原市	51.4
茂原市	62.1	山武郡横芝光町	49.5
松戸市	62.0	袖ヶ浦市	47.8
長生郡長南町	61.6	山武市	47.3
習志野市	61.6	長生郡睦沢町	47.2
八街市	61.5	匝瑳市	45.5
南房総市	61.4	山武郡九十九里町	44.9
千葉市緑区	60.8	銚子市	43.8
我孫子市	60.3	大網白里市	41.9
千葉市中央区	59.7	長生郡白子町	41.6
千葉市美浜区	59.5	木更津市	39.6
夷隅郡御宿町	59.0	長生郡一宮町	37.9
香取市	58.9	千葉県平均	59.0

7-2 . 後発医薬品の数量割合（後期高齢者） 調剤

- 千葉県国保の平成29年度の後発品の数量割合（調剤）は66.4%であった。
- 旭市が80.5%と最高値になっている。

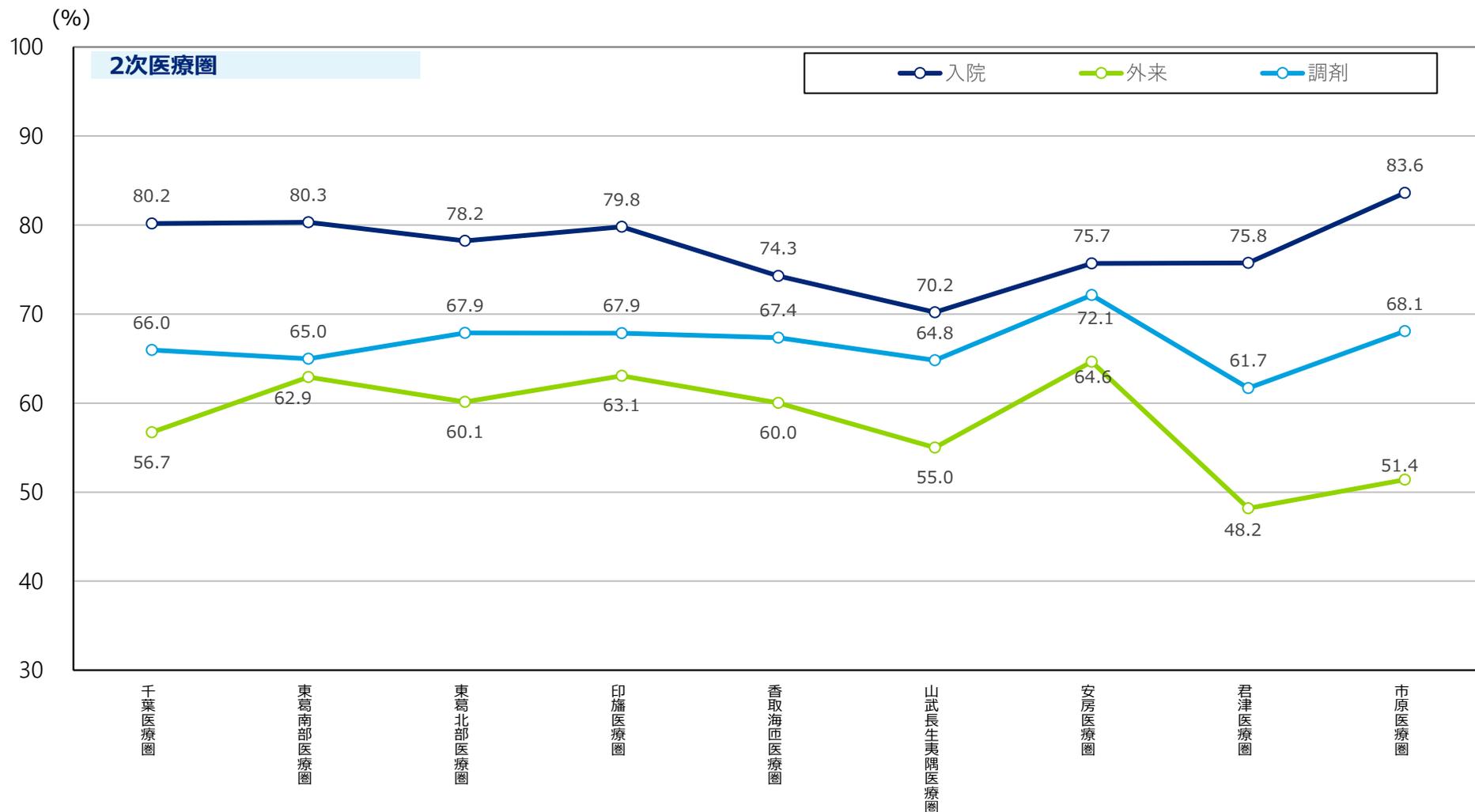


市区町村	後発医薬品 数量割合(%) 調剤	市区町村	後発医薬品 数量割合(%) 調剤
旭市	80.5	香取市	67.1
長生郡睦沢町	73.9	四街道市	67.0
山武郡芝山町	73.9	長生郡長生村	66.8
館山市	73.7	千葉市美浜区	66.8
印旛郡酒々井町	73.0	袖ヶ浦市	66.7
南房総市	72.7	千葉市若葉区	66.6
夷隅郡大多喜町	72.1	佐倉市	66.6
流山市	71.9	柏市	66.6
香取郡多古町	71.5	千葉市花見川区	66.5
長生郡一宮町	71.3	山武郡横芝光町	66.4
富里市	71.2	鎌ヶ谷市	66.3
白井市	71.0	船橋市	65.6
長生郡白子町	70.8	千葉市中央区	64.4
香取郡東庄町	70.6	八千代市	64.2
安房郡鋸南町	69.7	印西市	64.0
八街市	69.5	香取郡神崎町	64.0
印旛郡栄町	69.2	千葉市緑区	63.7
鴨川市	68.8	市川市	63.7
山武市	68.6	いすみ市	63.6
我孫子市	68.5	君津市	63.0
匝瑳市	68.5	長生郡長柄町	61.9
成田市	68.4	浦安市	60.9
習志野市	68.3	茂原市	60.7
野田市	68.1	木更津市	60.2
市原市	68.1	銚子市	59.1
大網白里市	67.7	富津市	59.0
山武郡九十九里町	67.7	夷隅郡御宿町	57.5
東金市	67.7	長生郡長南町	54.3
千葉市稲毛区	67.3	勝浦市	47.5
松戸市	67.2	千葉県平均	66.4

県平均値
66.4%

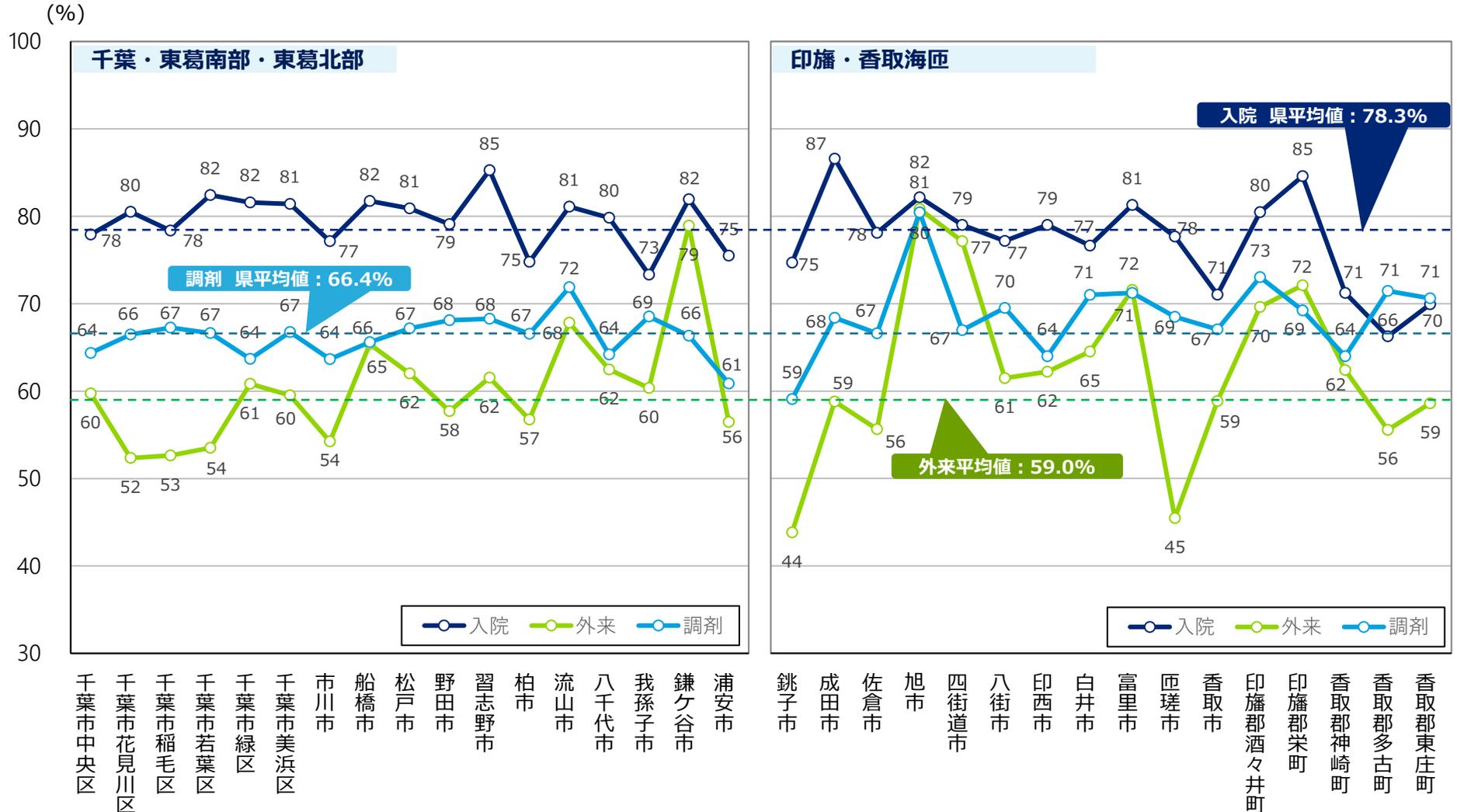
7-2 . 後発医薬品の入院・外来・調剤別数量割合（後期高齢者） 2次医療圏

- 安房医療圏は入院・外来・調剤間の差は小さい。
- 市原医療圏、君津医療圏は入院・外来・調剤間に大きな差がある。



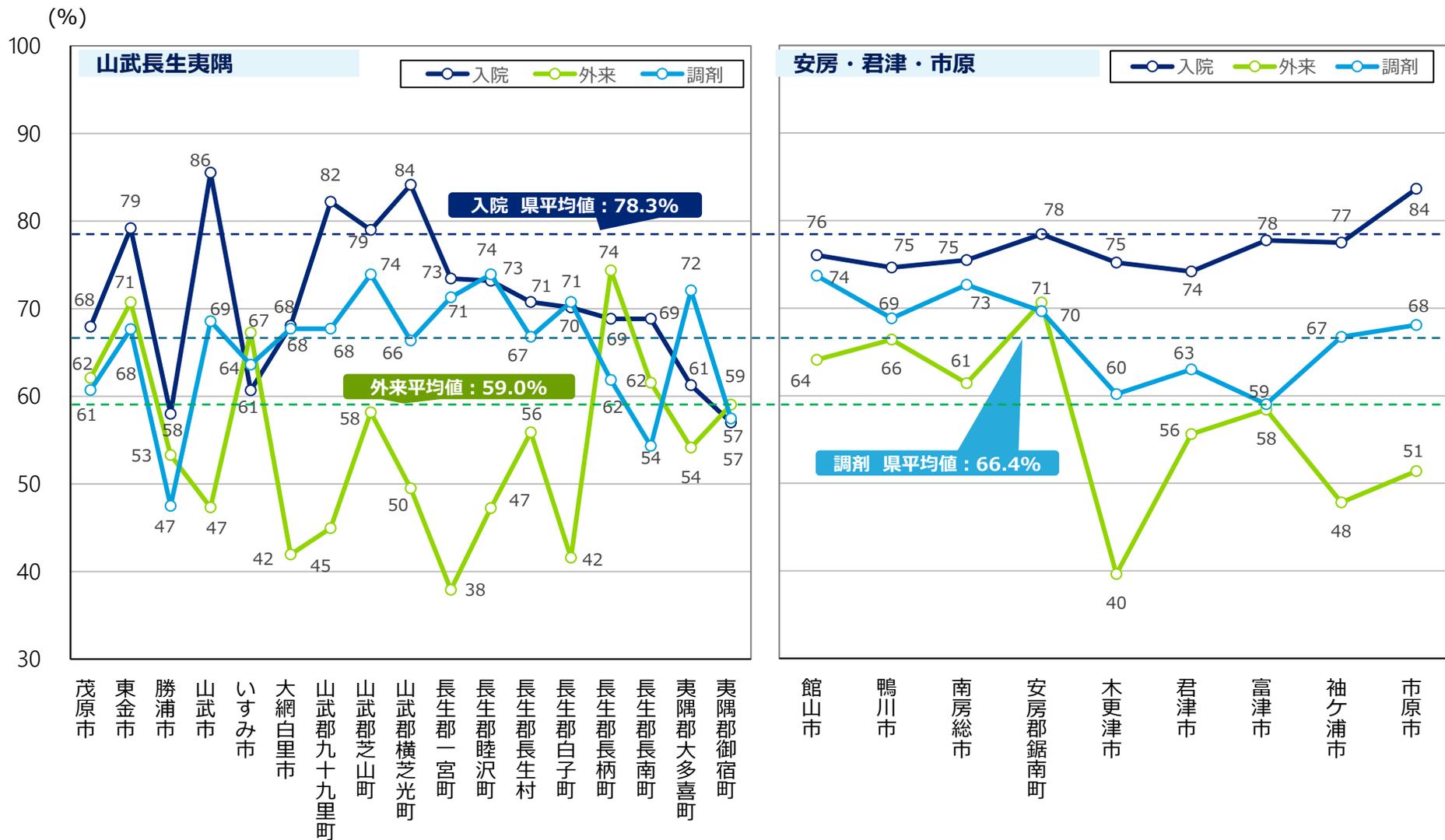
7-2. 後発医薬品の入院・外来・調剤別数量割合（後期高齢者） 千葉・東葛南部・東葛北部／印旛・香取海匝

- 千葉・東葛南部・東葛北部地域では、鎌ヶ谷市の外来、流山市の調剤が高くなっている。
- 印旛・香取海匝地域では、銚子市の外来と調剤、匝瑳市の外来が低くなっている。



7-2. 後発医薬品の入院・外来・調剤別数量割合（後期高齢者） 山武長生夷隅／安房・君津・市原

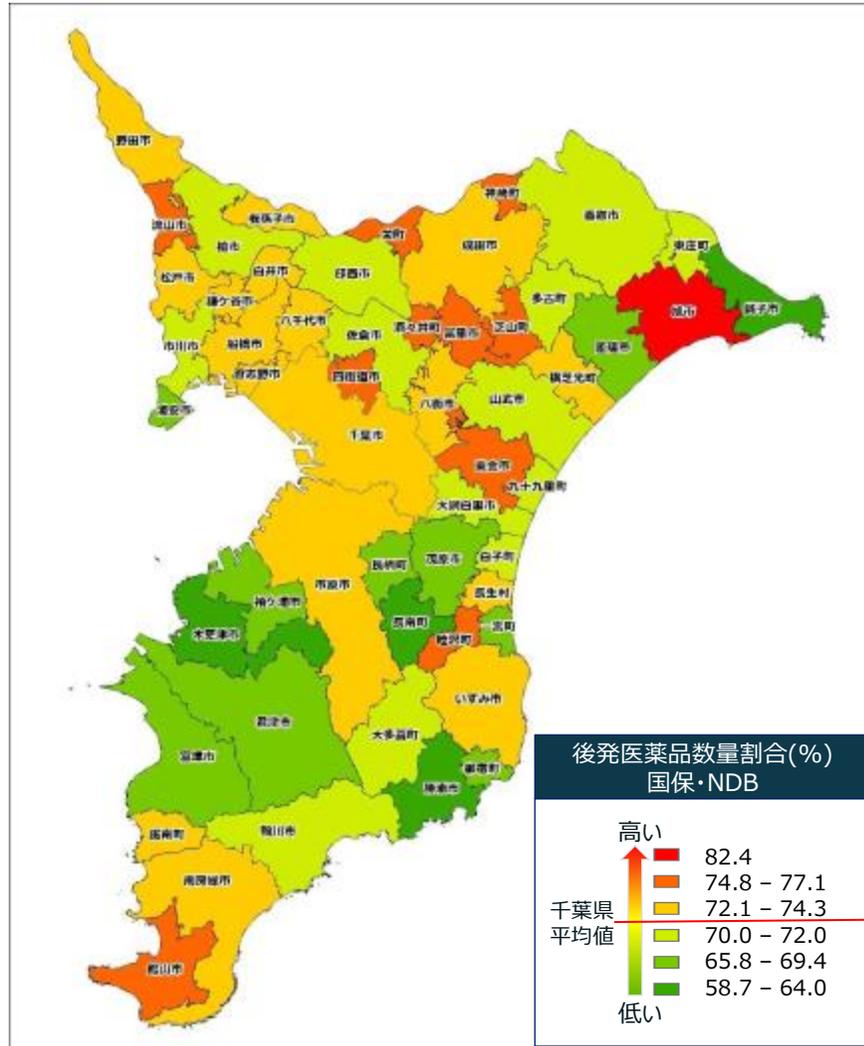
- 山武長生夷隅地域では調剤のばらつきが大きい。
- 安房・君津・市原地域では、木更津市の調剤が低い。



7-3. 【参考】後発医薬品の数量割合（NDBデータ）

- 千葉県国保の平成29年度の後発医薬品の数量割合は72.1%であった。
- 旭市が82.4%と最高値になっている。

<国保>



<国保>

市町村	後発医薬品 数量割合(%)	市町村	後発医薬品 数量割合(%)
旭市	82.4	千葉市	72.1
印旛郡栄町	77.1	柏市	72.0
香取郡神崎町	76.6	印西市	71.8
山武郡芝山町	76.5	市川市	71.7
流山市	76.5	香取市	71.7
印旛郡酒々井町	76.2	香取郡多古町	71.5
館山市	75.5	佐倉市	71.5
長生郡睦沢町	75.5	山武郡九十九里町	71.4
四街道市	75.2	夷隅郡大多喜町	71.4
東金市	75.1	香取郡東庄町	71.3
富里市	74.8	大網白里市	71.3
南房総市	74.3	鴨川市	70.6
白井市	74.3	山武市	70.4
松戸市	74.1	長生郡白子町	70.0
八街市	73.6	茂原市	69.4
我孫子市	73.5	長生郡一宮町	68.9
習志野市	73.3	君津市	68.2
野田市	73.3	袖ヶ浦市	68.2
長生村	73.1	長生郡長柄町	67.8
鎌ヶ谷市	73.1	富津市	67.7
成田市	73.0	浦安市	67.5
市原市	73.0	夷隅郡御宿町	66.7
山武郡横芝光町	72.9	匝瑳市	65.8
安房郡鋸南町	72.6	木更津市	64.0
八千代市	72.5	長生郡長南町	63.7
船橋市	72.2	銚子市	62.3
いすみ市	72.1	勝浦市	58.7
		千葉県平均	72.1

県平均値
72.1%

<後期高齢>

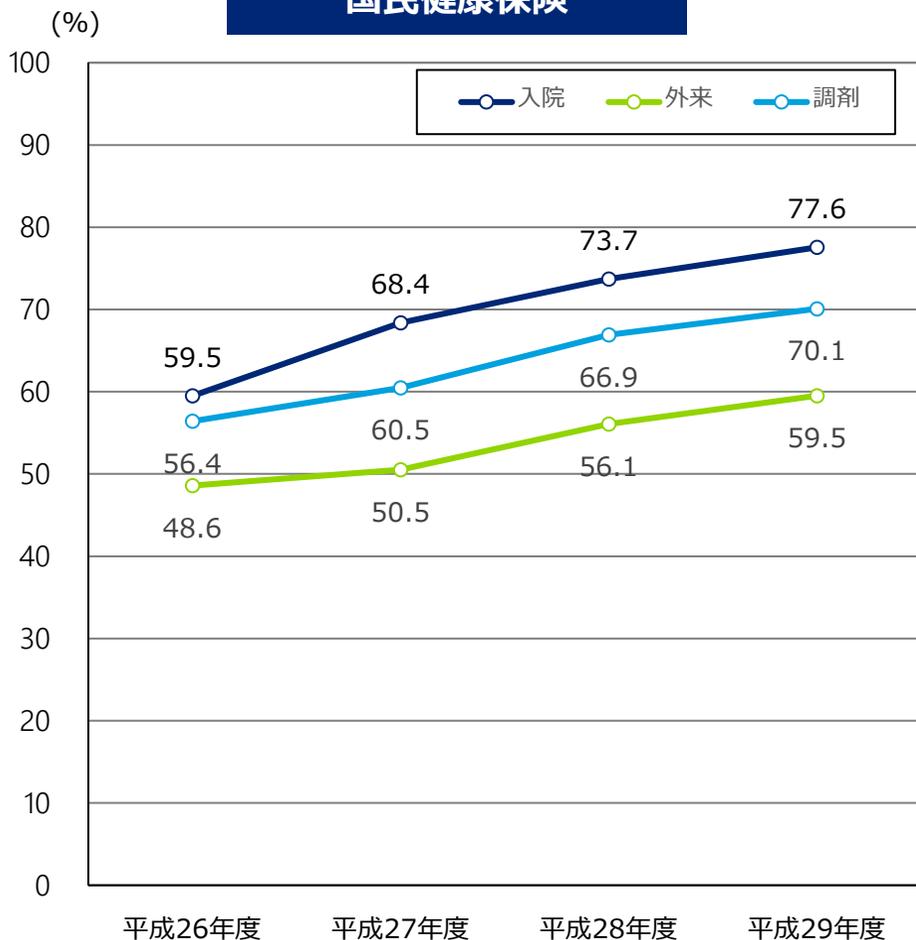
千葉県後期高齢者	後発医薬品数量割合(%)
	69.1

7-4 . 後発医薬品の入院・外来・調剤別数量割合推移

○ 後発医薬品の入院・外来・調剤別数量割合を「国保」「後期高齢者」別に見ると以下の通りとなっている。

- ① 国民健康保険 : 入院、外来、調剤ともに数量割合が増加傾向にある。
- ② 後期高齢者医療制度 : 国保同様に入院、外来、調剤ともに数量割合が増加傾向にある。

国民健康保険



後期高齢者医療制度

